

# 活用ガイド

Windows® 8 Pro 32ビット  
Windows® 8 32ビット

■ はじめに..... 3	■ BIOS設定およびTCO機能..... 76
本マニュアルの表記や、商標などの情報を記載しています。 <b>最初にご覧ください。</b>	BIOSセットアップユーティリティやTCO機能について記載しています。
■ 各部の名称と機能..... 22	■ アプリケーションのインストール/アンインストール..... 85
本機の各部の名称や機能について記載しています。	本機にインストール、また添付されているアプリケーションの概要やインストール、アンインストール方法について記載しています。
■ タッチパネルについて..... 27	■ メンテナンスと管理..... 111
この章を読むと、本機をすぐに使い始めることができます。	本機のSSDのメンテナンス方法やバックアップ環境の構築などについて記載しています。
■ ワイヤレス ネットワークおよびワイヤレス デバイス..... 33	■ 別売のOSを使用する..... 116
無線WAN (3Gまたは4G)、無線LAN、Bluetoothデバイスなど、さまざまなネットワークやデバイスに接続する方法を記載しています。	本機で別売のOSを利用する場合にご覧ください。
■ バッテリとAC電源..... 46	■ トラブルの予防と解決のヒント..... 118
バッテリーの充電、バッテリー駆動時間の延長、バッテリー状況の確認について記載しています。	トラブルの予防や解決のヒントについて記載しています。
■ 本機の使用..... 53	■ アフターケア、改造について..... 132
本機の機能とその使い方について記載しています。	本機のアフターケアやサポートに関する注意事項について記載しています。
■ 外付けキーボード..... 61	■ 譲渡、廃棄について..... 139
本機の専用オプションである外付けキーボードについて記載しています。	本機の譲渡、廃棄時の注意事項について記載しています。
■ セキュリティ..... 69	■ 仕様一覧など (Web専用コンテンツ) .. 146
本機に保存されている情報を保護する方法について記載しています。	Webにて、仕様やソフトウェア占有量などの情報を公開しています (インターネットへの接続環境が必要です)。

<b>はじめに</b> .....	3	<b>セキュリティ</b> .....	69
はじめに.....	4	パスワードの使用.....	70
本マニュアルの表記について.....	5	ファイアウォールの使用.....	74
「ユーザー アカウント制御」について.....	7	ウイルスからのデータの保護.....	75
基本操作.....	8	<b>BIOS設定およびTCO機能</b> .....	76
サポート技術情報について.....	10	BIOSセットアップユーティリティ.....	77
ご注意.....	11	システム管理の使用.....	84
<b>Windows 8の画面操作について</b> .....	13	<b>アプリケーションのインストール/アンインストール</b> .....	85
チャーム (チャーム バー).....	14	便利な機能とアプリケーション.....	86
アプリ バー、ナビゲーション バー.....	16	インストール/アンインストールについて.....	87
画面やアプリを切り替える.....	18	ソフトウェア占有量について.....	89
2つのアプリを並べて表示する.....	20	Office Home and Business 2013.....	90
アプリを終了する.....	21	ウイルスバスター.....	95
<b>各部の名称と機能</b> .....	22	Adobe Reader.....	101
各部の名称と機能.....	23	スレートPC表示変更ツール.....	104
<b>タッチパネルについて</b> .....	27	mazec for Windows.....	107
タッチパネルの使用.....	28	バッテリー診断ツール.....	109
タッチキーボードの使用.....	30	<b>メンテナンスと管理</b> .....	111
タッチキーボードと手書きパネルの使用.....	31	SSDのメンテナンス.....	112
デジタイザーペンの使用.....	32	お手入れについて.....	114
<b>ワイヤレス ネットワークおよびワイヤレス デバイス</b> .....	33	<b>別売のOSを利用する</b> .....	116
使用上の注意.....	34	別売のOSを利用する.....	117
SIMカードの取り付け.....	36	<b>トラブルの予防と解決のヒント</b> .....	118
使用している無線WANの確認.....	39	トラブルの予防.....	119
無線WANへの接続.....	40	ウイルスから守る.....	122
無線LANへの接続.....	42	トラブル発生に備えて.....	125
Bluetoothデバイスの使用.....	44	解決のヒント.....	126
<b>バッテリーとAC電源</b> .....	46	Windowsヘルプの紹介.....	129
バッテリー (二次電池) について.....	47	<b>アフターケア、改造について</b> .....	132
バッテリーの充電.....	48	保守サービスについて.....	133
バッテリー駆動時間を長くする.....	50	「再セットアップ用メディア」の入手方法について.....	134
バッテリー状況のチェック.....	52	消耗品と有寿命部品について.....	135
<b>本機の使用</b> .....	53	24時間以上の連続使用について.....	137
快適にお使いいただくために.....	54	本製品の改造、修理について.....	138
USBデバイスの使用.....	55	<b>譲渡、廃棄について</b> .....	139
microSDカードスロットの使用.....	56	本製品の譲渡について.....	140
HDMIデバイスの使用.....	58	本製品の廃棄方法について.....	141
同期ソリューションの使用.....	59	パソコンの廃棄・譲渡時のSSD上のデータ消去に関する ご注意.....	142
GPS衛星放送受信機の使用.....	60	ハードディスクのデータ消去.....	143
<b>外付けキーボードについて</b> .....	61	<b>仕様一覧など (Web専用コンテンツ)</b> .....	146
外付けキーボード.....	62	仕様一覧など (Web専用コンテンツ).....	147
外付けキーボードの表示ランプ.....	64		
外付けキーボードの使用.....	65		

# はじめに

---

[010000-28]

▶ はじめに.....	4
▶ 本マニュアルの表記について.....	5
▶ 「ユーザー アカウント制御」について.....	7
▶ 基本操作.....	8
▶ サポート技術情報について.....	10
▶ ご注意.....	11
▶ Windows 8の画面操作について.....	13

# はじめに

---

[010001-00]

本マニュアルには、本機の機能についての説明、添付またはインストールされているアプリケーションの情報、トラブル発生時などの対応方法を記載したQ&A、アフターケアやサポートに関する情報など、本機を利用する上での情報が記載されています。

本マニュアルは、Windowsの基本的な操作がひと通りでき、アプリケーションなどのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に記載されています。

もし、あなたがコンピュータに初めて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などでひと通り経験してから、本マニュアルをご利用になることをおすすめします。

本機の仕様、アプリケーションについては、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

仕様についての詳細は、下記のリンクよりお使いのモデルの「仕様一覧」をご覧ください。




<http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201305/bios/v1/mst/index.html>

# 本マニュアルの表記について

[010003-28]

本マニュアルで使用しているアイコンや記号、アプリケーション名などの正式名称、表記について、下記をご覧ください。

## 本マニュアルで使用しているアイコンの意味

アイコン	意味
 チェック	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
 メモ	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
 参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれているところを示しています。

## 本マニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、Windows 8、Windows 8 Pro、Windows 8 Pro 32ビット	Windows® 8 32ビット、Windows® 8 Pro 32ビット
Internet Explorer、Internet Explorer 10	Internet Explorer 10
Office Home and Business 2013	Microsoft Office Home and Business 2013
ウイルスバスター	ウイルスバスター クラウド™
Adobe Reader	Adobe® Reader® XI

## 本マニュアルで使用している表記の意味

本文中の表記	意味
本機、本体	本マニュアルの対象機種を指します。 特に周辺機器などを含まない対象機種を指す場合、「本体」と表記します。
無線WANモデル	docomo LTE「Xi（クロッシィ）」に接続可能な無線WANが搭載されているモデルを指します。
Office Home and Business 2013モデル	Office Home and Business 2013のセットアップ モジュールがあらかじめインストールされているモデルを指します。

BIOSセットアップユーティリティ	本文中に記載されているBIOSセットアップユーティリティは、画面上では「Setup Utility」と表示されます。
「コントロールパネル」表示し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「システム情報」	「コントロールパネル」表示し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「システム情報」を順にタップする操作を指します。
チャームバー	チャームの載った右端から表示されるバーを指します。
【 】	【 】で囲んである文字はキーボードのキーを指します。 【Ctrl】 + 【Y】と表記してある場合は、タッチキーボードでは【Ctrl】をタップし、続けて【Y】をタップすることを指します。 外付けキーボードでは【Ctrl】キーを押したまま【Y】キーを押すことを指します。
『 』	『 』で囲んである文字は、マニュアルの名称を指します。

## ■ 本マニュアルで使用している画面、記載内容について

- 本マニュアルに記載の図や画面は、モデルによって異なることがあります。
- 本マニュアルに記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。

# 「ユーザー アカウント制御」について

---

[010005-08]

アプリケーションを表示したり、本機を操作したりしているときに「ユーザー アカウント制御」画面が表示されることがあります。

「ユーザー アカウント制御」は、コンピュータウイルスなどの「悪意のあるソフトウェア」によって、本機のシステムに影響を及ぼす可能性のある操作が行われるのを防ぐため、これらの操作がユーザーが意図して行った操作によるものかを確認するためのものです。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、表示された内容をよく確認し、操作を行ってください。



## チェック

「ユーザー アカウント制御」画面で管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーのパスワード入力が求められる場合があります。その場合は、画面の内容を確認し入力を行ってください。

▶ アプリ画面の開き方. . . . .	8
▶ コントロール パネルの開き方. . . . .	8
▶ デバイス マネージャの開き方. . . . .	8

## アプリ画面の開き方

Internet Explorerやメールなどのアプリを使用するときは、はじめにアプリ画面を表示します。

### 1 チャーム バーを表示し、「検索」をタップ

### 2 「アプリ」をタップ

アプリ画面が表示されます。



#### メモ

アプリ バーの「すべてのアプリ」をタップしてもアプリ画面を表示できます。

## コントロール パネルの開き方

コントロール パネルは、Windowsの各機能や画面の表示のしかた、アプリケーションのインストール/アンインストールなど、さまざまな設定ができます。

### 1 スタート画面から「デスクトップ」をタップ

### 2 デスクトップでチャーム バーを表示し、「設定」をタップ

### 3 「コントロール パネル」をタップ

コントロール パネルが表示されます。

## デバイス マネージャの開き方

デバイス マネージャは、本機を構成している部品やディスプレイなどの周辺機器が正常に認識されていることを確認したり、ドライバの更新をしたりすることができます。

### 1 スタート画面から「デスクトップ」をタップ

### 2 デスクトップでチャーム バーを表示し、「設定」をタップ



### **3 「コントロール パネル」をタップ**

コントロール パネルが表示されます。

---

### **4 「システムとセキュリティ」をタップ**

### **5 システムの「デバイス マネージャー」をタップ**

「デバイス マネージャー」が表示されます。

---

# サポート技術情報について

---

[010007-00]

マイクロソフトで確認された問題の説明や解決方法がサポート技術情報として公開されています。  
サポート技術情報を参照するには、「マイクロソフト サポート」にアクセスし該当する文書番号を入力して検索してください。

マイクロソフト サポート  
<http://support.microsoft.com/>



## チェック

サポート技術情報のタイトルや内容は変更される場合があります。

# ご注意

[010004-28]

1. 本マニュアルの内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
2. 本マニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本マニュアルの内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、または121コンタクトセンターへご連絡ください。
4. 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、3項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
5. 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
6. 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス [UltraCareサービス] 対象機種に限り、当社の定めるサービス対象地域から日本への引取修理サービスを行います。  
サービスの詳細や対応機種については、以下のホームページをご覧ください。

<http://121ware.com/navigate/rescue/ultracare/jpn/index.html>

7. 本機の内蔵SSDにインストールされているWindowsは本機でのみご使用ください。また、本機に添付の「再セットアップ用メディア」は、本機のみでしかご使用になれません（詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください）。
8. ソフトウェアの全部または一部を著作権者の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
9. ハードウェアの保守情報をセーブしています。
10. 本製品には、Designed for Windows<sup>®</sup> programのテストにパスしないソフトウェアを含みます。
11. 本マニュアルに記載されている内容は制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

## ■ 輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はありません。（ただし、海外保証サービス [UltraCareサービス] 対象機種については、日本への引取修理サービスを実施致します。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

## ■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.

NEC<sup>\*1</sup> will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.

NEC<sup>\*1</sup> does not provide maintenance service or technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for Ultracare Services can be provided with acceptance service of repair inside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law.

Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

\*1:NEC Personal Computers, Ltd.

\* \* \*

Microsoft、Windows、Internet ExplorerおよびWindowsのロゴは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

インテル、IntelおよびAtomはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

Adobe、およびReaderは合衆国およびその他の国におけるAdobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。Bluetoothワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、NECパーソナルコンピュータはライセンスに基づきこのマークを使用しています。

HDMI、High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

Wi-Fi、Wi-Fi Alliance、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi CERTIFIED、WPAおよびWPA2は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。

「Xi」、「Xi/クロッシィ」および「Xi」ロゴは、株式会社NTTドコモの商標または登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Personal Computers, Ltd. 2013

NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

# Windows 8の画面操作について

---

[010100-08]

Windows 8のスタート画面やアプリの画面での基本操作などを紹介します。

➤ チャーム (チャーム バー) .....	14
➤ アプリ バー、ナビゲーション バー .....	16
➤ 画面やアプリを切り替える .....	18
➤ 2つのアプリを並べて表示する .....	20
➤ アプリを終了する .....	21

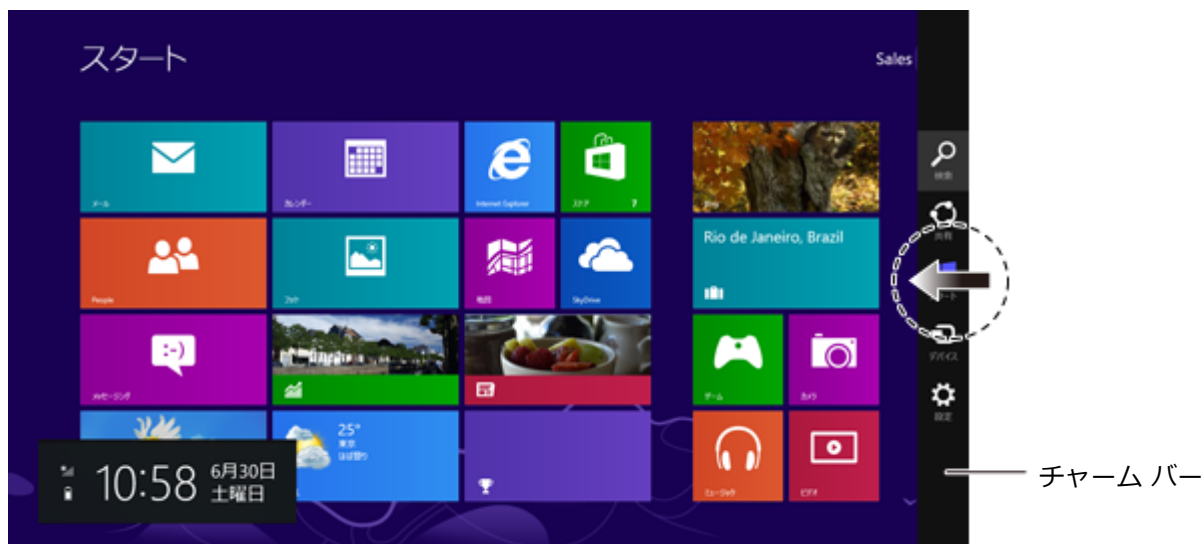
# チャーム (チャーム バー)

[010101-28]

チャーム バーは、よく使う機能を集めたメニューです。起動しているアプリに応じて、いろいろな機能を利用できます。

## チャーム バーを表示する

チャーム バーを表示するには、画面の右端から、左にスワイプします。



### 参照

#### タッチパネルの操作について

「タッチパネルについて」 - 「タッチパネルの使用 (P. 28)」







### メモ

チャーム バーを表示すると、画面の左下に次の情報も表示されます。

- 時間・日付
- ネットワーク状態 (電波強度など)
- バッテリーの残量 (バッテリー使用時)

## チャーム バーのアイコン

アイコン	説明
	検索とアプリの起動に使います。検索対象はアプリによって変わります。
	ファイルや情報を他のアプリで利用するときに使います。

 スタート	スタート画面を表示します。
 デバイス	他の機器にデータを送ります。印刷するときなどに使います。
 設定	表示しているアプリの設定を行います。スタート画面では「Windows 全般の設定」ができます。

# アプリ バー、ナビゲーション バー

[010102-28]

アプリ バーとナビゲーション バーは、表示しているアプリに対してさまざまな操作を行うためのバーです。アプリ バーは画面下側に、ナビゲーション バーは画面上側に表示され、それぞれが表示されるかどうかはアプリによって異なります。表示されるメニューや機能はアプリの状況により変化します。

## アプリ バーを表示する

アプリ バーを表示するには、スタート画面の下端または上端から内側へスワイプします。



### 参照

#### タッチパネルの操作について

「タッチパネルについて」 - 「タッチパネルの使用 (P. 28)」



### メモ

スタート画面でアプリ バーを表示すると、アプリ バーの右側に「すべてのアプリ」ボタンが表示されます。「すべてのアプリ」ボタンをタップすると、アプリ画面が表示されます。

## ナビゲーション バーを表示する

アプリのナビゲーション バーを表示するには、アプリの画面の上端または下端から内側へスワイプします。





## メモ

Internet Explorer の場合は、画面上側にナビゲーションバーが、画面下側にアプリバーが表示されます。



## 参照

### タッチパネルの操作について

「タッチパネルについて」 - 「タッチパネルの使用 (P. 28)」

# 画面やアプリを切り替える

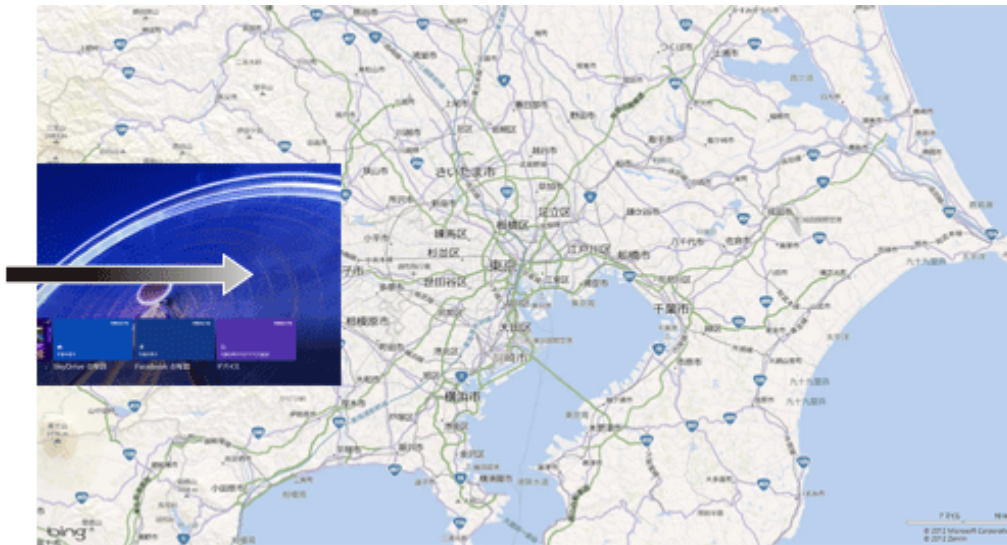
[010103-28]

Windows 8 では、いろいろなアプリを切り換えて使うことができます。  
ここでは画面やアプリの切り換えの主な方法を紹介します。

## 最近使用したアプリを順番に切り替える

二つのアプリを切り替えるときに便利です。

画面の左端から右へスワイプします。スワイプするたびにアプリが順番に切り換わります。



### 参照

#### タッチパネルの操作について

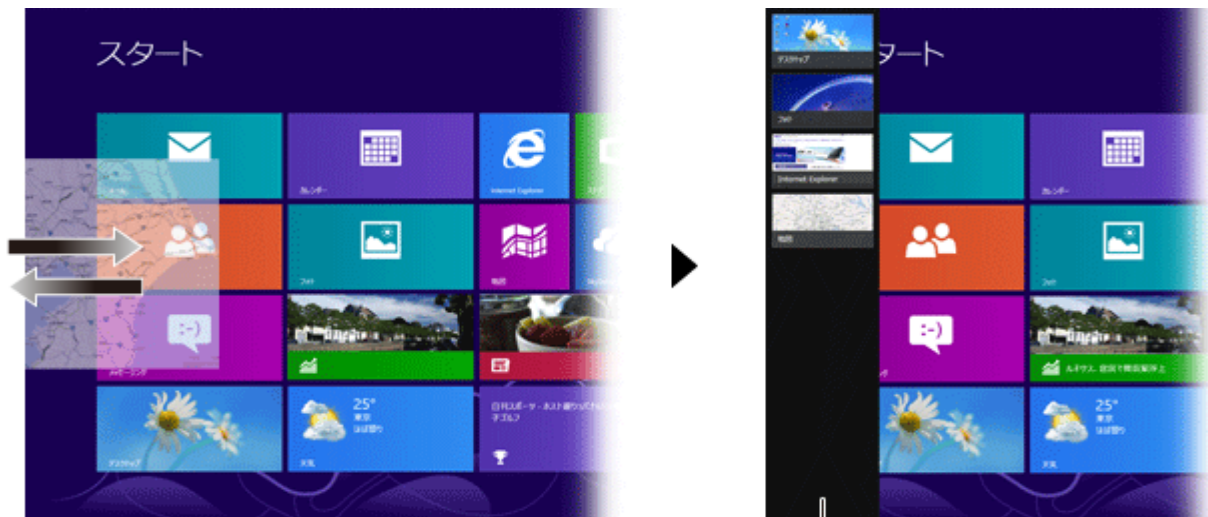
「タッチパネルについて」 - 「タッチパネルの使用 (P. 28)」

## 最近使用したアプリをアプリ一覧から選ぶ

二つ以上のアプリを使用していて、特定のアプリに切り替えたいときに便利です。

最近使用したアプリの一覧を表示するには、画面の左端から右へスライドし、一旦指をとめ、そのまま画面から離さずに左端へ戻します。

最近使用したアプリをアプリ一覧にあるサムネイル（縮小画像）から選びます。



アプリ一覧



**参照**

**タッチパネルの操作について**

「タッチパネルについて」 - 「タッチパネルの使用 (P. 28)」

## 2つのアプリを並べて表示する

[010104-28]

2つのアプリを、画面の左右に並べて表示できます。  
大きい画面を「メイン アプリ」、もう一方は「スナップ アプリ」と呼びます。

### 2つの画面にする

2つの画面にするには、アプリのサムネイルを画面の左に表示（「最近使用したアプリをアプリ一覧から選ぶ (P. 18)」）してから、アプリのサムネイルを目的の位置までドラッグまたはスライドします。



#### メモ

- 2つのアプリを並べて表示をやめたいときは、各アプリを終了します。
- メイン アプリ、スナップ アプリの画面のサイズは固定です。



#### 参照

- **アプリの終了について**  
「アプリを終了する (P. 21)」
- **タッチパネルの操作について**  
「タッチパネルについて」 - 「タッチパネルの使用 (P. 28)」

# アプリを終了する

[010105-28]

アプリを終了するには、画面の上端を、画面の下端までドラッグまたはスライドします。画面の下半分が下端にかくれたら、指を離します。



## メモ

2つのアプリを並べて表示しているときは、それぞれのアプリを画面の下端までドラッグして終了します。



## 参照

### タッチパネルの操作について

「タッチパネルについて」 - 「タッチパネルの使用 (P. 28)」

# 各部の名称と機能

---

[020000-08]

各部の名称と機能..... 23

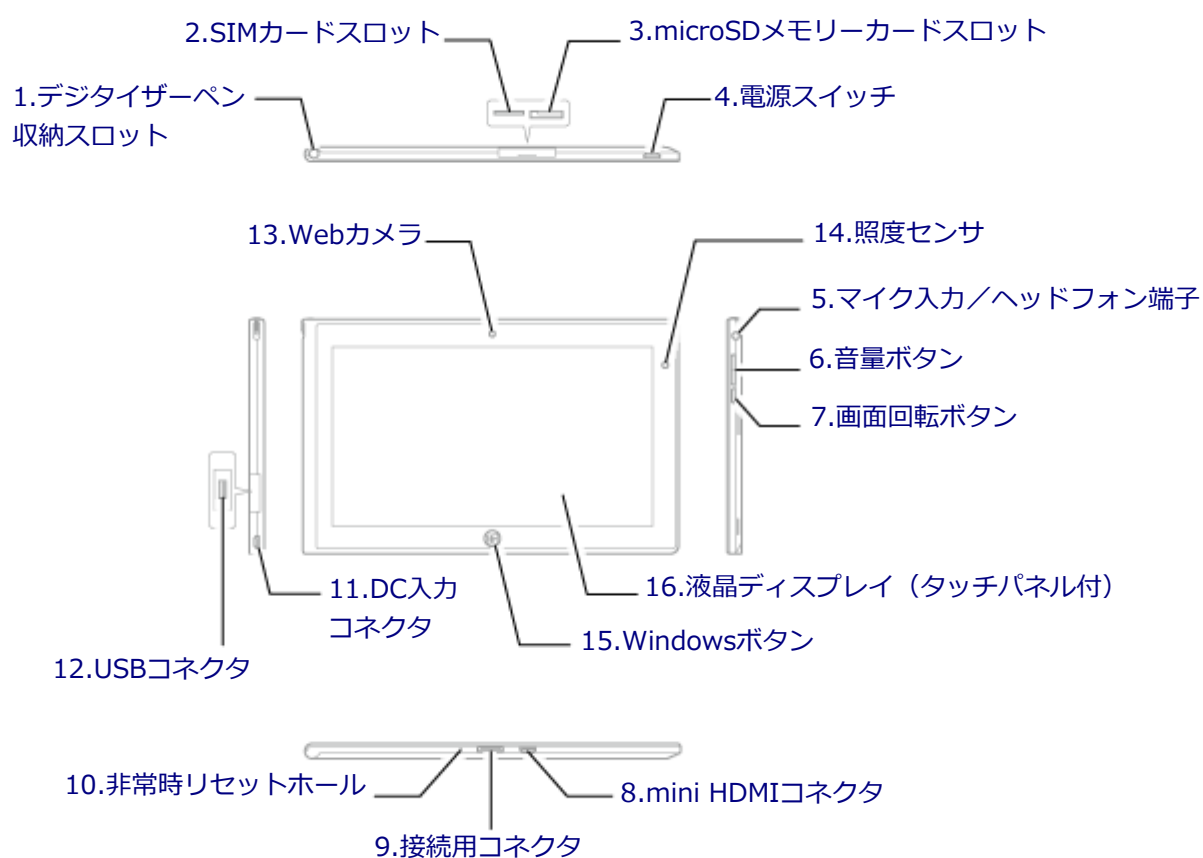
# 各部の名称と機能

[020101-08]

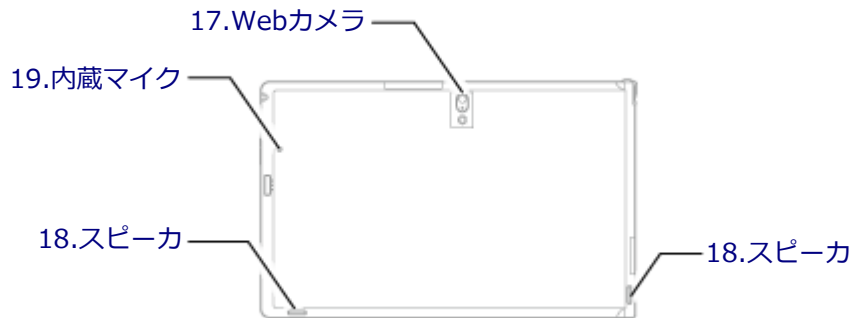
## ■ 本機の構成

このトピックでは、本機のハードウェア機能を紹介し、本機を使い始めるために必要な基本情報を記載しています。

### 本体前面／側面



## 本体背面



## 各部の説明

### 1. デジタイザーペン収納スロット

本機を操作する際に使用するデジタイザーペンを格納する場所です。  
→「タッチパネルについて (P. 27)」

### 2. SIMカードスロット (無線WANモデルのみ)

無線WAN (広域ネットワーク) 接続を確立するために、SIM (加入者識別モジュール) カードを挿入するスロットです。カバーを開いて挿入します。  
→「ワイヤレス ネットワークおよびワイヤレス デバイス (P. 33)」

### 3. microSDメモリーカードスロット

microSDメモリーカードを挿入するスロットです。カバーを開いて挿入します。  
→「microSDカードスロットの使用 (P. 56)」

### 4. 電源スイッチ

電源の入/切に使用するスイッチです。  
本機が応答しなくなり、電源を切ることができない場合は、電源スイッチを4秒間以上押し続けます。

### 5. マイク入力/ヘッドフォン端子

本機でステレオ サウンドを聴くために、ヘッドフォンホンをマイク入力/ヘッドフォン端子に接続します。録音または通話するときは、マイクをマイク入力/ヘッドフォン端子に接続します。オーディオ機能とマイク機能が一体になった、マイク搭載のヘッドセットを接続することもできます。

### 6. 音量ボタン

+または-ボタンを押すと、本機の音量を調整できます。

### 7. 画面回転ボタン

ボタンを押すと、画面自動回転機能が無効になります。もう一度押すと、機能が有効になります。



## 8.mini HDMIコネクタ

本機には、mini HDMI（ハイデフィニション マルチメディア インターフェース）コネクタが搭載されています。HDMI に対応したデジタル オーディオ デバイスまたはHDTV（高品位テレビ）などに接続できます。

→「HDMIデバイスの使用 (P. 58)」

## 9.接続用コネクタ

本製品では使用できません。

## 10.非常時リセットホール

本機が応答しなくなり、電源スイッチを押し続けても電源を入/切できない場合に使用します。

太さ1.3mm程の針金を押し込むと、本機をリセットできます。

## 11.DC入カコネクタ

バッテリー残量が少なくなるときに、付属のUSBケーブルとACアダプタを使用して、本機を充電します。

→「バッテリーの充電 (P. 48)」

## 12.USBコネクタ

コネクタカバーを開いて、USBマウス、USBキーボード、USBメモリーなどのUSB機器を接続します。

→「USBデバイスの使用 (P. 55)」

## 13.Webカメラ（前面）

本機の前面には、2メガピクセルのWebカメラが備わっています。WebカメラとWebアプリケーションを使用することで、写真撮影、ビデオ制作、ビデオ通話などが楽しめます。

## 14.照度センサ

照度センサによって感知された周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動的に調整されます。

## 15.Windowsボタン

Windowsボタンを押すと、スタート画面が表示されます。

## 16.液晶ディスプレイ（タッチパネル付）

画面をタップして、アイコン、メニュー項目、タッチキーボードなどを操作できます。

→「タッチパネルについて (P. 27)」

## 17.Webカメラ（背面）

8メガピクセルのフラッシュ付きWebカメラが備わっています。WebカメラとWebアプリケーションを使用することで、写真撮影、ビデオ制作などが楽しめます。

## 18.スピーカ

---

内蔵のステレオスピーカです。

## 19.内蔵マイク

---

オーディオ対応のアプリを使って、音声をコンピュータに取り込むことができます。

# タッチパネルについて

---

[030000-08]

▶ タッチパネルの使用. . . . .	28
▶ タッチキーボードの使用. . . . .	30
▶ タッチキーボードと手書きパネルの使用. . . . .	31
▶ デジタイザーペンの使用. . . . .	32

# タッチパネルの使用

[030101-08]

タッチパネルの使用法について説明します。

操作名	操作イメージ	説明
タップ		指先で画面に軽くタッチすると、アプリケーションの起動や項目の選択、メニューを開くことができます。タッチキーボードを使用してテキストを入力することもできます。
長押し		アクションが発生するまでオブジェクトまたは画面の空白領域を押し続けます。
ドラッグ		画面上の画像やアイコンなどの項目を移動させるには、指で項目をタップしたまま目的の方向に指を動かし、画面から指を放します。
スワイプ/スライド		指を垂直または水平方向に動かします。スタート画面、Webページ、リスト、画像のサムネイルなどがスクロールします。
ズーム		<b>ズームアウト</b> 指で何かをつまむように画面上で2本の指を近づけると、画像やWebページの表示が縮小されます。 <b>ズームイン</b> 画面上で2本の指を離すと、画像やWebページの表示が拡大されます。
ダブルタップ		画面上ですばやく2回タップするとズームインし、もう一度ダブルタップするとズームアウトします。 ダブルタップができないアプリケーションもあります。

## 画面の回転

---

本機には、画面の自動回転機能をサポートするモーションセンサーが内蔵されています。工場出荷時では、この機能は有効になっています。

本機を回転すると、画面が自動的に回転して横または縦に表示されます。

画面自動回転機能を無効にするには、画面回転ボタンを押します。



### チェック

アプリケーションによっては、画面の自動回転機能が有効にならないことがあります。

# タッチキーボードの使用

---

[030201-08]

タッチキーボードを使用すると、テキスト、数字、記号、その他の文字が入力できます。本機を回転すると、タッチキーボードが自動的に回転して横または縦に表示されます。

## ■ タッチキーボードを表示する

**1** 画面の右端から内側にスワイプして、チャームバーを表示する

---

**2** 「検索」をタップ

---

**3** 「アプリ」をタップ

---

**4**  をタップ

---

# タッチキーボードと手書きパネルの使用

[030301-08]

タッチキーボードを使用すると、テキスト、数字、記号、その他の文字が入力できます。本機を回転すると、タッチキーボードが自動的に回転して横または縦に表示されます。

## ■ タッチキーボードと手書きパネルを開く

### ● スタート画面

タッチキーボードと手書きパネルは、入力が必要なときに自動的に表示されます。

### ● デスクトップ

キーボード アイコンをタップして開きます。

## ■ タッチキーボードの無効化

外付けキーボードを使用したい場合は、USBキーボードを本機のUSBコネクタに接続するか、BlueToothキーボードと本機をペアリングしてください。外付けキーボードで入力すると、タッチキーボードが自動的に無効になります。



#### 参照

#### 外付けキーボードについて

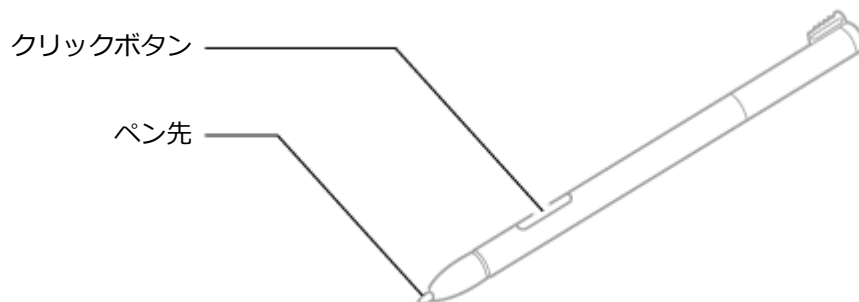
「外付けキーボードについて (P. 61)」

# デジタイザーペンの使用

---

[030401-08]

デジタイザーペンを使用すると、編集機能やスケッチ機能のあるアプリケーションを使用して、自然な方法でテキストを入力する、メモを取る、PDFファイルに注釈を付ける、図を描くなどの操作ができます。



デジタイザーペンには、ペン先とクリックボタンが付いています。

使用するには、ペンを持って液晶ディスプレイにペン先を置きます。

選択（シングルクリック）するには、ペンで液晶ディスプレイを一度タップします。

ダブルクリックは、間を開けずに2回続けてタップします。

右クリックは、ペン先をディスプレイ上で1回タップしたまま、右クリックアイコンが表示されるまで待ちます。



# ワイヤレス ネットワークおよびワイヤレス デバイス

---

[040000-08]

➤ 使用上の注意. . . . .	34
➤ SIMカードの取り付け. . . . .	36
➤ 使用している無線WANの確認. . . . .	39
➤ 無線WANへの接続. . . . .	40
➤ 無線LANへの接続. . . . .	42
➤ Bluetoothデバイスの使用. . . . .	44

## 使用上の注意

[021903-28]

IEEE802.11 b/g/n			
2.4DS/OF4			
IEEE802.11 a/n			
J52	W52	W53	W56
W52/W53の利用は屋内限定			

- 本製品には、2.4GHz帯高度化小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品は、2.4GHz全帯域（2.4GHz～2.4835GHz）を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域（2.427GHz～2.47075GHz）が回避可能です。変調方式としてDS-SS方式とOFDM方式を採用しており、与干渉距離は40mです。
- 本製品には、5GHz帯小電力データ通信システムが内蔵されています。本製品に内蔵されている無線設備は、5GHz帯域（5.15GHz～5.35GHz、5.47GHz～5.725GHz）を使用しており、以下のチャンネルに対応しています。
  - W52 : Ch36 (5180MHz) ,Ch40 (5200MHz) ,Ch44 (5220MHz) ,Ch48 (5240MHz)
  - W53 : Ch52 (5260MHz) ,Ch56 (5280MHz) ,Ch60 (5300MHz) ,Ch64 (5320MHz)
  - W56 : Ch100 (5500MHz) ,Ch104 (5520MHz) ,Ch108 (5540MHz) ,Ch112 (5560MHz) ,Ch116 (5580MHz) ,Ch120 (5600MHz) ,Ch124 (5620MHz) ,Ch128 (5640MHz) ,Ch132 (5660MHz) ,Ch136 (5680MHz) ,Ch140 (5700MHz)
- IEEE802.11a/n (W52、W53) 無線LANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
- 本製品は、日本国における電波法施行規則第6条第4項第4号「小電力データ通信システムの無線局」を満足した無線設備であり、日本国における端末設備等規則第36条「電波を使用する自営電気通信端末設備」を満足した端末設備です。  
分解や改造などを行っての運用は違法であり、処罰の対象になりますので絶対に行わないでください。  
また、本製品は日本国以外ではご使用になれません。
- 本製品の電波出力は、一般社団法人電波産業会が策定した「電波防護標準規格（RCR STD-38）」に基づく基準値を下回っています。
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止してください。
- 自動ドアや火災報知機など、自動制御機器の周辺では、本製品は使用しないでください。自動制御機器の電子回路に影響を与え、誤動作の原因になる場合があります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ、その他の無線を使用する機器などをお使いになっている近くで本製品を使用すると、それらの機器に影響を与えることがあります（本製品の電源を入/切することで影響の原因になっているかどうか判別できます）。この場合、次のような方法で電波干渉を取り除くようにしてください。
  - 本製品と影響を受けている装置の距離を離してください。
  - 影響を受けている装置が使用しているコンセントと別の電気系統のコンセントから、本製品の電力を供給してください。
  - 電話機やテレビ、ラジオの干渉について経験のある技術者に相談してください。

- トラック無線（CB無線）やアマチュア無線などを違法に改造した無線機から影響を受ける場合には、影響を受ける場所・時間を特定し、ご使用場所の管轄の電波管理局へ申し入れてください。  
詳しくは、ご使用場所管轄の電波管理局へお問い合わせください。
- 他の無線機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。
- 電子レンジなど、本製品と同じ周波数帯域を使用する産業・科学・医療用機器から影響を受ける場合には、使用周波数帯域を変更するなど、混信回避のための処置を行ってください。
- 本製品は、電波の特性上、設置場所によって通信距離や通信速度が異なります。

# SIMカードの取り付け

[040201-08]

本機が無線WANに接続するためには、SIMカードが必要です。付属していない場合は、サービス通信業者から購入する必要があります。



## チェック

SIMカードの取り付けや取り外しを行うとき、SIMカードの金属製コネクタには触れないようにしてください。SIMカードへの放電を避けるため、SIMカードの取り付けや取り外しは、必ず本機を手で持って行ってください。

## SIMカードを取り付ける

### 1 本機の電源を切る

### 2 SIMカードを挿入するSIMカードスロットのカバーを開き、SIMカードの挿入位置を確認する

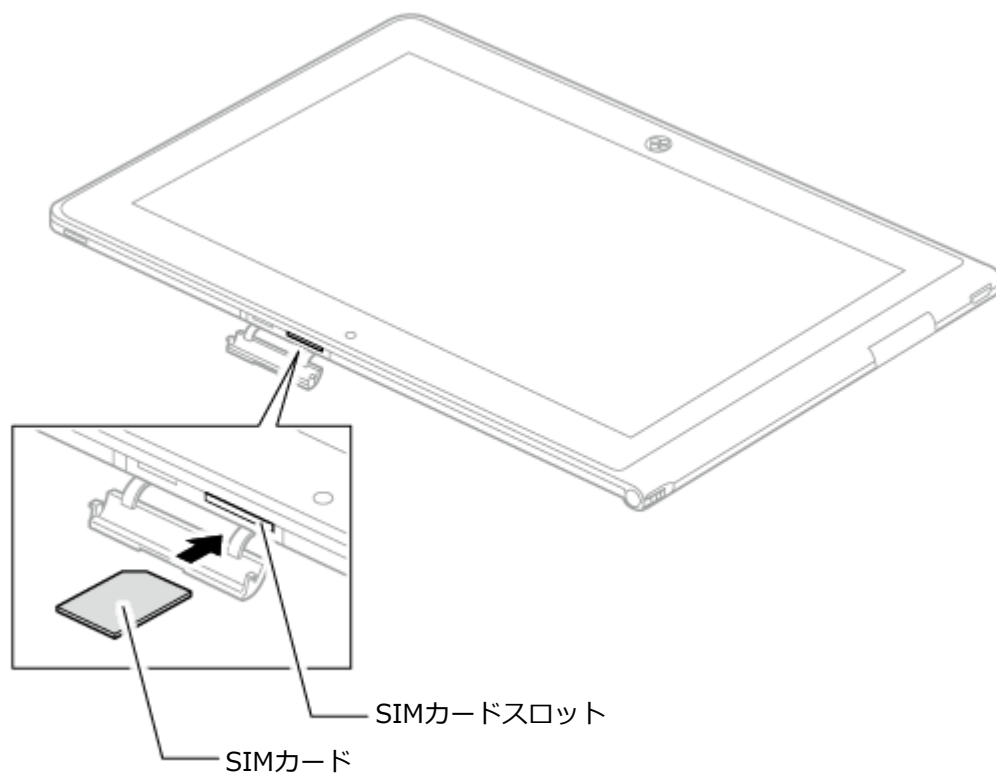


#### 参照

##### 各部の名称と機能

「各部の名称と機能」 - 「本機の構成」 - 「[本体前面／側面 \(P. 23\)](#)」

### 3 SIMカードの金属端子を下に向け、カチッという音がするまでSIMカードスロットにしっかりと挿入する



---

**4** SIMカードスロットのカバーを閉じ、本機の電源を入れる

---

## SIMカードを取り出す

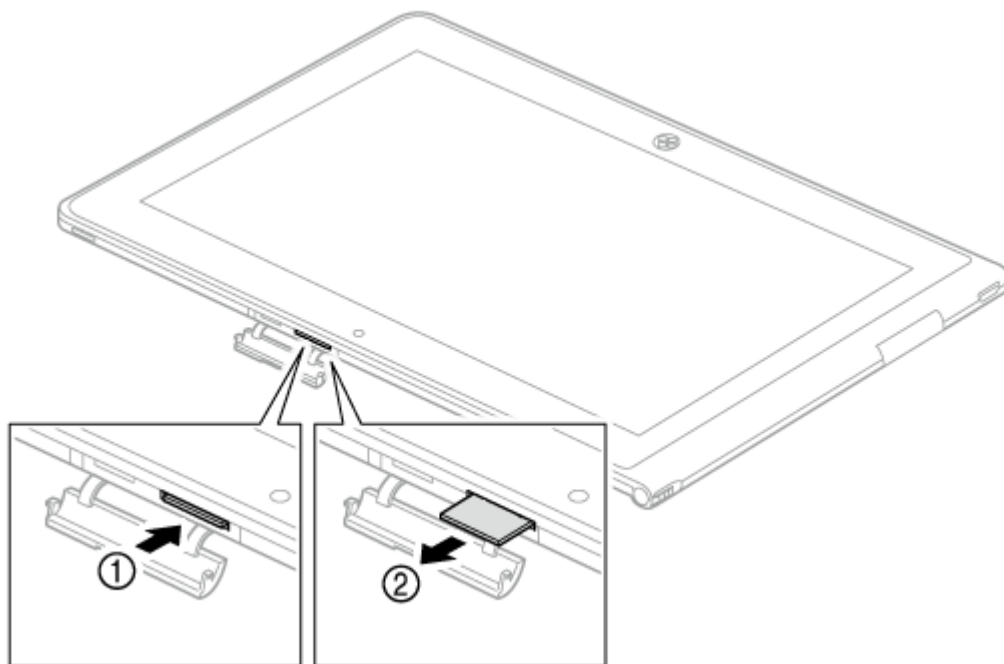
**1** 本機の電源を切る

---

**2** SIMカードを挿入するSIMスロットのカバーを開く

---

- 3** カチッという音がするまでSIMカードを内側に少し押す  
SIMカードがイジェクトされますので、静かにスライドさせてSIMスロットから引き出す



- 4** SIMカードスロットのカバーを閉じ、本機の電源を入れる

## 使用している無線WANの確認

---

[040301-08]

ネットワークに接続している場合は、使用している無線WANのネットワーク名が確認できます。  
ネットワーク名をチェックするには、以下のいずれかを実行します。

- 画面の右端から内側にスワイプして、チャームバーを表示します。次に、「設定」をタップします。  
ネットワーク名がネットワークアイコンの下に表示されます。
- デスクトップで、Windowsの通知領域にあるネットワークアイコンまでカーソルを移動します。  
ネットワーク名が表示されます。

無線WANに接続するには、SIMカードが必要です。



## 参照

### SIMカードの取り付け

「ワイヤレス ネットワークおよびワイヤレス デバイス」 - 「SIMカードの取り付け (P. 36)」



## チェック

お使いのモデルによっては、無線WANに接続できないものがあります。

## 従量制接続に設定する

接続中の無線WANを「従量制接続」に設定すると、送受信するデータ量を減らすことができます。アクティブな無線WANを従量制接続に設定するには、次のようにします。

**1** 画面の右端から内側にスワイプして、チャーム バーを表示する

**2** 「設定」をタップ

**3** ネットワークアイコンをタップ

使用可能な無線WANのリストが表示されます。

**4** 無線WAN名をタップして、指を画面上に2秒間置き、次に画面から離す

メニューが表示されます。

**5** 「従量制接続に設定」をタップ

## 従量制接続でのダウンロード機能を無効にする

従量制接続に設定したら、従量制接続でのダウンロード機能を無効にして、追加料金を請求されないようにします。

**1** 画面の右端から内側にスワイプして、チャーム バーを表示する

**2** 「設定」をタップ

**3** 「PC 設定の変更」をタップ



**4** ナビゲーションパネルで、「デバイス」をタップ

---

**5** 「従量制課金接続でのダウンロード」セクションで、左にスライドしてオフにする

---

# 無線LANへの接続

[040501-08]

Wi-Fiは、Wi-Fiルーターや環境に応じて最大100メートルまで離れていてもアクセスできる、ワイヤレス ネットワークテクノロジーです。本機はWi-Fiのネットワークに接続できます。

Wi-Fi接続するには、機能しているワイヤレスアクセスポイント（WAP）（「ホットスポット」とも呼ばれます）へアクセスします。

ホットスポットには誰でもアクセスできるようになっているものもありますが、その他のホットスポットはセキュリティ機能を実装し、特定のグループや個人しかアクセスできないようにしています。



## チェック

Wi-Fi信号の範囲および品質は、接続されたデバイス、インフラストラクチャ、および信号が通過する物体に左右されます。

## 無線LANへの接続

Wi-Fi ネットワーク接続を確立するには、次のようにします。

**1** 画面の右端から内側にスワイプして、チャーム バーを表示する

**2** 「設定」をタップ

**3** ネットワークアイコンをタップ

使用可能なWi-Fi ネットワークのリストが表示されます。

**4** 接続するネットワークのID をタップ

**5** 画面の指示に従って、Wi-Fi ネットワークに接続する

## 接続している無線LANの情報を表示する

接続している無線LANの速度、セキュリティ、アドレス、その他の情報を表示するには、無線LANのIDをタップして、指を液晶ディスプレイ上に2秒間置き、離します。メニューが表示されます。

いずれかのメニュー項目を選択して、必要な情報を表示します。

## 無線LAN接続時にプロキシ機能を利用する

プロキシ機能を使用すると、従来より多くのWebベースのソースにアクセスし、より安全にインターネットを閲覧できます。無線LAN接続時にプロキシ機能を利用するには、次のようにします。

**1** 「インターネットオプション」ウィンドウを開く



### チェック

「インターネットオプション」ウィンドウを開く方法については、アプリ画面を開き、アプリの一覧で「ヘルプとサポート」をタップすると表示される「Windowsヘルプとサポート」プログラムを参照してください。

## 2 「接続」タブをタップ

## 3 プロキシを設定する



### チェック

プロキシについては詳しくは、システム管理者またはネットワーク管理者に相談してください。

## ■ ネットワークの追加

ネットワーク名（「サービス セットID」または「SSID」とも呼ばれます）をブロードキャストしていない無線LANにアクセスするには、接続する前に、そのネットワークを追加する必要があります。  
ネットワークを追加するには、次のようにします。

## 1 画面の右端から内側にスワイプして、チャームバーを表示する

## 2 「設定」をタップ

## 3 ネットワークアイコンをタップ

使用可能なWi-Fi ネットワークのリストが表示されます。

## 4 「非公開のネットワーク」をタップ

## 5 画面の指示に従って、ネットワークを追加する

# Bluetoothデバイスの使用

[040601-08]

Bluetoothは、短距離用の通信テクノロジーです。Bluetoothを使用すると、10mほど離れたところにある別のBluetooth対応デバイス（外付けキーボードやヘッドセットなど）とワイヤレス接続します。

## Bluetoothデバイスとのペアリング

他のBluetoothデバイスと接続してデータを交換するには、次の手順で本機とBluetoothデバイスをペアリングします。

- 1 画面の右端から内側にスワイプして、チャームバーを表示する
- 2 「設定」をタップ
- 3 「PC 設定の変更」をタップ
- 4 ナビゲーションパネルで「デバイス」をタップ
- 5 「デバイスの追加」をタップ
- 6 デバイスのリストからペアリングするBluetoothデバイスをタップし、画面の指示に従ってお互いのデバイスをペアリングする

Bluetooth デバイスがリストに表示されない場合は、「探しているものが見つからない場合」をタップして指示に従います。

## Bluetoothデバイスとのペアリング解除

Bluetoothデバイスとのペアリングを解除するには、次のようにします。

- 1 画面の右端から内側にスワイプして、チャームバーを表示する
- 2 「設定」をタップ
- 3 「PC 設定の変更」をタップ
- 4 ナビゲーションパネルで「デバイス」をタップ
- 5 ペアリングを解除するBluetoothデバイスをタップ

**6** 右に表示される解除アイコン (  ) をタップ

---

**7** 「削除」をタップ

---

# バッテリーとAC電源

---

[050000-08]

▶ バッテリー（二次電池）について.....	47
▶ バッテリーの充電.....	48
▶ バッテリー駆動時間を長くする.....	50
▶ バッテリー状況のチェック.....	52

# バッテリー（二次電池）について

---

[020501-28]

- 本機はリチウムイオン電池を内蔵しています。バッテリーの交換については、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。
- バッテリーについてはJEITA（一般社団法人 電子情報技術産業協会）の「バッテリー関連Q&A集」（<http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=121&ca=14>）もあわせてご覧ください。
- 本機に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。



# バッテリーの充電

[050101-08]

本機には、標準的なAC電源コンセントで充電できるACアダプタが付属しています。

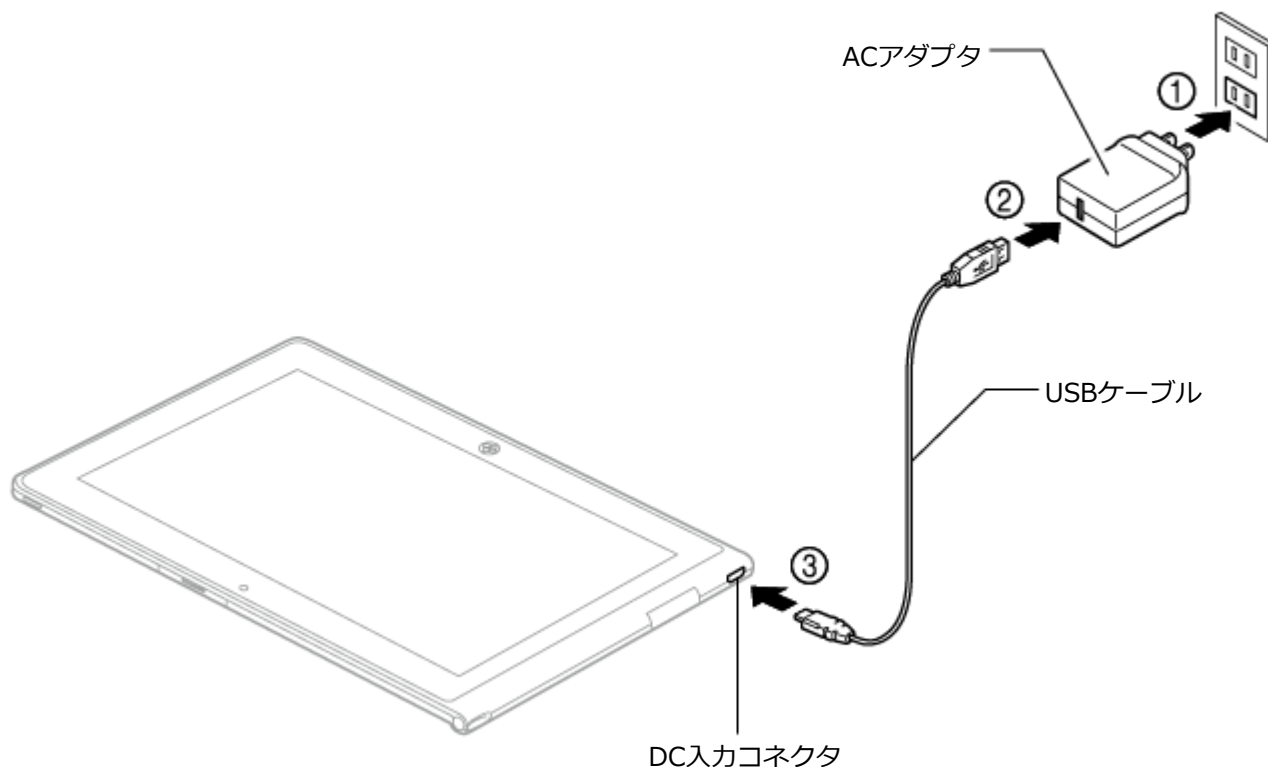


## チェック

工場出荷時、バッテリーは完全には充電されていません。また、バッテリー容量が不足していると、電源が入らない場合があります。その場合は、ACアダプタを接続して、バッテリーを充電してからご使用ください。

## バッテリーの充電

- 1 ACアダプタをAC電源コンセントに差し込む
- 2 USBケーブルの一方の端をACアダプタに接続し、もう一方の端を本機のDC入力コネクタに接続する



- 3 バッテリーが満充電になったら本機からACアダプタを取り外すか、ACアダプタを接続したままAC電源を使用して本機を操作する



## 充電方法

以下のいずれかの充電方法を使用して、本機の内蔵バッテリーを安全に再充電できます。

充電方法	本機の電源が入っている (画面点灯)	電源が切れている、またはスクリーンロック モード (画面消灯オフ)
ACアダプタ	充電可 (バッテリーの充電は低速)	充電可
本機のDC入力コネクタと、 USB2.0規格に準拠したコンピュ ータやその他のデバイスのUSBコ ネクタとのUSB接続 (最も低速 の充電方法)	この充電方法では、電力消費量が 補われます。バッテリーの充電は通 常より低速になります。	充電可 (バッテリーの充電は低速)



### チェック

必ず、本製品付属のACアダプタを使用してください。他のACアダプタを使用すると、本機に重大な損傷を引き起こすおそれがあります。

# バッテリー駆動時間を長くする

[050201-08]

本機を持ち出しAC電源を使用できない場合は、次のようにして、バッテリーの駆動時間を長くすることができます。

## 使用していないときはWi-Fi、無線WAN、GPS、またはBluetoothをオフにする

Wi-Fi、無線WAN、GPS、またはBluetooth機能をオフにするには、次のようにします。

- 1 画面の右端から内側にスワイプして、チャームバーを表示する
- 2 「設定」をタップ
- 3 「PC 設定の変更」をタップ
- 4 ナビゲーションパネルで「ワイヤレス」をタップ
- 5 「ワイヤレス デバイス」セクションで、左側にスライドし、選択したワイヤレス デバイスをオフにする

## 使用していないときは、Wi-Fi、GPS、およびBluetoothをオフにする

Wi-Fi、GPS、およびBluetooth機能をオフにするには、次のようにします。

- 1 画面の右端から内側にスワイプして、チャームバーを表示する
- 2 「設定」をタップ
- 3 ネットワークアイコンをタップ
- 4 右側にスライドして「機内モード」をオンにする

すべてのワイヤレス デバイスを無効になります。

## アプリケーションの自動同期機能をオフにする（必要ない場合）

自動同期機能をオフにするには、次のようにします。

- 1 画面の右端から内側にスワイプして、チャームバーを表示する

**2 「設定」をタップ**

**3 「PC 設定の変更」をタップ**

**4 ナビゲーションパネルで、「PC設定の同期」をタップ**

**5 「PC設定の同期」をオフにする**

## ■ 画面の明るさを調節する

画面の明るさを調節するには、次のようにします。

**1 画面の右端から内側にスワイプして、チャームバーを表示する**

**2 「設定」をタップ**

**3 「ディスプレイ」をタップ**

**4 明るさを低くするにはスライドを下げ、明るさを高くするにはスライドを上げる**

## ■ 本機を一時的に使用しないときは、スリープ状態にする

スリープ状態にするには、次のようにします。

**1 画面の右端から内側にスワイプして、チャームバーを表示する**

**2 「設定」をタップ**

**3 「電源」→「スリープ」をタップ**

## ■ 少しの間本機を使用しない場合は、電源を切る

本機の電源を切るには、次のようにします。

**1 画面の右端から内側にスワイプして、チャームバーを表示する**

**2 「設定」をタップ**

**3 「電源」→「シャットダウン」をタップ**

# バッテリー状況のチェック

---

[050301-08]

タスクバーのデスクトップバッテリー状況アイコンをチェックすると、いつでも、バッテリーのおおよその状況を確認できます。また、本機は、「バッテリー診断ツール」からもバッテリーの性能を確認できます。



**参照**

**バッテリー診断ツール**

「アプリケーションのインストール/アンインストール」 - 「[バッテリー診断ツール \(P. 109\)](#)」

[060000-08]

▶ 快適にお使いいただくために.....	54
▶ USBデバイスの使用.....	55
▶ microSDカードスロットの使用.....	56
▶ HDMIデバイスの使用.....	58
▶ 同期ソリューションの使用.....	59
▶ GPS衛星放送受信機の使用.....	60

## 快適にお使いいただくために

---

[060601-08]

本機は内蔵フラッシュメモリ（SSD）を搭載していますが、通常のハードディスク搭載モデルと比べて搭載容量が少ないため、大量の写真データや動画などの非常に大きな容量のファイルを保存する場合には、保存先にUSBメモリーやmicroSDカードを指定することをおすすめします。SSDの空き容量が少なくなると、動作の不具合などが起きる可能性があります。

# USBデバイスの使用

[060101-08]

本機には、USBと互換性のあるデバイスに接続するためのDC入力コネクタおよびUSBコネクタが備えられています。

## DC入力コネクタの使用

本機のDC入力コネクタに付属のUSB ケーブルとをACアダプタを接続し、バッテリーの充電を行います。



### チェック

DC入力コネクタは、DCの充電専用です。



### 参照

#### DC入力コネクタについて

「各部の名称と機能」の「各部の名称と機能 (P. 23)」

## USBコネクタの使用

USBコネクタを使用して、互換性のあるUSBデバイス（USBマウス、USBキーボード、USBメモリーなど）を接続します。



### チェック

- USBコネクタは、USB 2.0規格と互換性があります。
- USBコネクタは、最大2.5Wの電源出力を供給できます。



### 参照

#### USBコネクタについて

「各部の名称と機能」の「各部の名称と機能 (P. 23)」

## USBキーボードまたはUSBマウスの使用

従来のキーボードを使い慣れている場合は、USBキーボードを本機に接続できます。

USBマウスを本機に接続することもできます。USBマウスを本機に接続するとすぐに、本機の画面にマウスポインタが表示され、マウスはアクティブになっており使用可能であることがわかります。

# microSDカードスロットの使用

[060201-08]

本機には、microSDカードスロットが装備されています。



## 参照

### microSDカードスロットについて

「各部の名称と機能」の「各部の名称と機能 (P. 23)」

## microSDカードの挿入



## チェック

microSDカードを取り扱う前に、金属製のテーブルまたは接地（アース）された金属製品に触れてください。これを行うと、身体の静電気が減少します。静電気はカードを損傷させるおそれがあります。

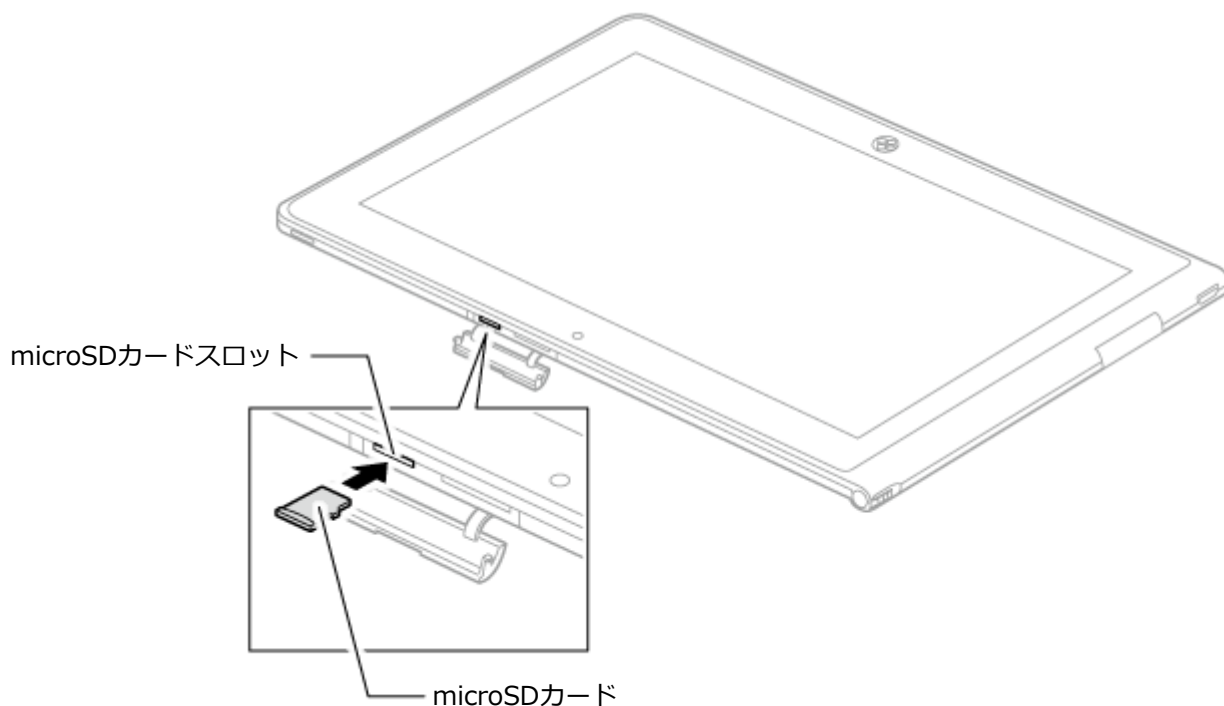
### 1 microSDカードスロットのカバーを開く

### 2 microSDカードをmicroSDカードスロットにセットする

金属端子は、必ず、下向きで、本機の方を向いているようにします。

### 3 カチッという音がするまで、microSDカードをしっかりと挿入する

カードが停止した時点で、カードはmicroSDカードスロットに完全に取り付けられたこととなります。



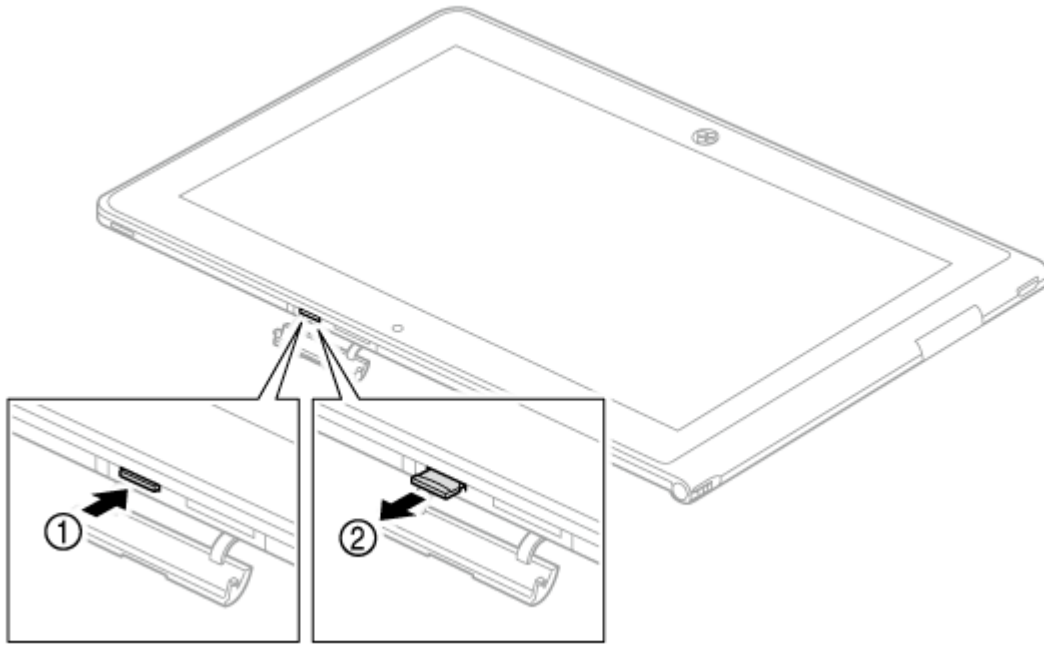


## microSDカードの取り外し

**1** microSDカードスロットのカバーを開く

**2** カチッという音がするまで、microSDカードを内側に少し押しつけて離す

microSDカードが飛び出します。



**3** microSDカードを静かにスライドさせて、microSDカードスロットから引き出す

# HDMIデバイスの使用

[060301-08]

本機には、mini HDMIコネクタが付属しています。このコネクタを使用して、ビデオ出力に使用する外付けモニターを接続できます。



参照

mini HDMIコネクタについて

「各部の名称と機能」の「各部の名称と機能 (P. 23)」

## 外付けモニターの画面設定

外付けモニターの画面設定を変更するには、次のようにします。

- 1 チャームバーを表示する
- 2 「デバイス」をタップ
- 3 「セカンドスクリーン」をタップ
- 4 外付けモニターの表示方法を選択する

# 同期ソリューションの使用

---

[060401-08]

同期ソリューションを使用すると、本機と本機以外のパソコンの設定を簡単に同期できます。Windows同期ソリューションにアクセスするには、次のようにします。

- 1** チャーム バーを表示する
- 2** 「設定」をタップ
- 3** 「PC 設定の変更」をタップ
- 4** 「PC設定の同期」をタップ
- 5** 必要に応じて、設定を構成する

# GPS衛星放送受信機の使用

---

[060501-08]

本機には、全地球測位システム（GPS）の衛星放送受信機が搭載されており、番地レベルまで位置を正確に特定できます。地図アプリなどの場所に基づいたアプリケーションを使用して、現在地の検索、目的地への行き方の確認、その他の場所に関する情報の確認を行うことができます。



## チェック

バッテリー駆動時間をより長くするため、使用しないときはGPS衛星放送受信機を無効にしてください。

# 外付けキーボードについて

---

[070000-08]

▶ 外付けキーボード.....	62
▶ 外付けキーボードの表示ランプ.....	64
▶ 外付けキーボードの使用.....	65

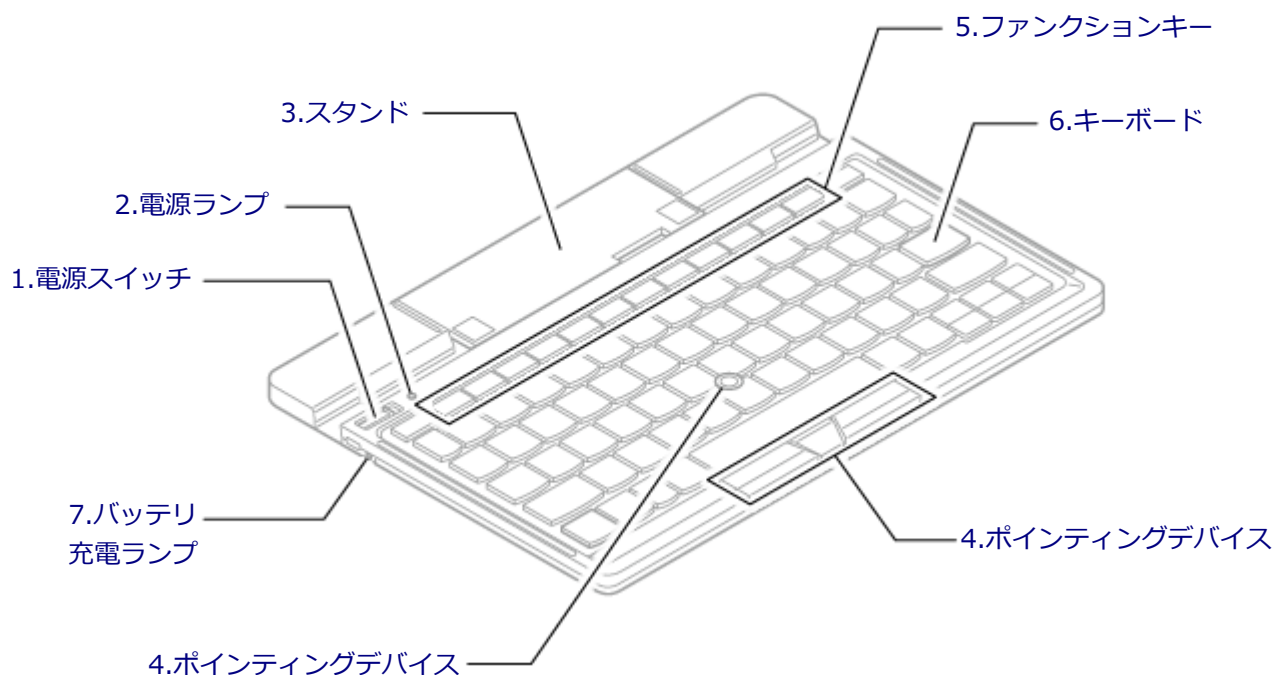
# 外付けキーボード

[070101-08]

本機には、外付けキーボードが付属していることがあります。外付けキーボードは、本機専用開発したオプションのデバイスです。このオプションを使用すると、使い勝手が高まり、本機をより簡単に仕事、勉強、エンターテインメントに活用できます。

## 外付けキーボードの構成

このトピックでは、外付けキーボードを紹介します。



## 各部の説明

### 1. 電源スイッチ

外付けキーボードの電源を入/切するスイッチです。電源スイッチを右にスライドすると電源が入ります。電源を切る場合は、電源スイッチを3秒以上スライドさせます。



#### チェック

一定時間何も動作しない状態が続くと、外付けキーボードの電源が自動的に切れるようになっています。また、外付けキーボードの接続先（パソコン）が見つからない場合も、数分で電源が切れます。電源が切れてしまった場合は、外付けキーボードの電源スイッチを入れなおしてください。

## 2.電源ランプ

---

外付けキーボードの動作状態を表します。

→「外付けキーボードの表示ランプ (P. 64)」

## 3.スタンド

---

本機を直立させます。

## 4.ポインティングデバイス

---

カーソル位置を指定するデバイスで、これを使用すると、タイプ位置から指を移動させずにポイント、選択、ドラッグ、スクロールを行うことができます。

→「外付けキーボードの使用 (P. 65)」

## 5.ファンクションキー

---

ファンクションキーを押すだけで本機のみさまざまな機能を実行できます (ホットキー機能)。

→「外付けキーボードの使用 (P. 65)」

## 6.キーボード

---

ポインティングデバイスとホットキーが付属した外付けキーボードとして機能します。

→「外付けキーボードの使用 (P. 65)」

## 7.バッテリー充電ランプ

---

外付けキーボードの充電状態を表します。

→「外付けキーボードの表示ランプ (P. 64)」

# 外付けキーボードの表示ランプ

[070201-08]

## 電源ランプ

ランプの状態		本機の状態
緑	点灯後に消灯	電源が入ったとき、または電源を切ったとき
	1秒間隔で2回点滅	外付けキーボードがペアリングモードであるか、本機との接続を確立中
	5回点滅	外付けキーボードが本機との接続を確立したとき
オレンジ	3回点滅	バッテリー容量が少ないとき
消灯		外付けキーボードの電源が切れている、または本機と接続確立後の状態

## バッテリー充電ランプ

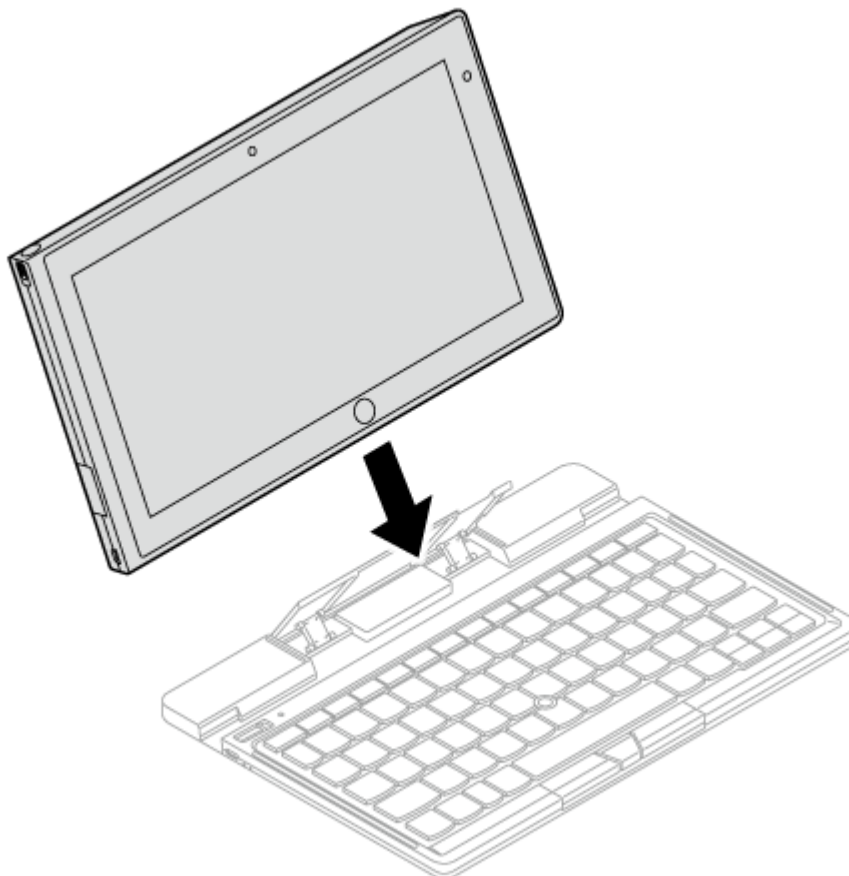
ランプの状態		本機の状態
緑	3秒間隔で点滅	バッテリー充電中
消灯		バッテリー充電完了



## 外付けキーボードを取り付ける

### 1 本機を外付けキーボードに取り付ける

本機が所定の位置に固定されたことを確認します。



### 2 外付けキーボードと本機のペアリングを行う



#### 参照

##### ペアリングについて

「ワイヤレス ネットワークおよびワイヤレス デバイス」の「Bluetoothデバイスの使用 (P. 44)」



#### チェック

バッテリー電源を節約するために、外付けキーボードを使用していないときはオフにします。Bluetooth 機能をオフにする方法について、詳しくは「バッテリーとAC電源」の「バッテリー駆動時間を長くする (P. 50)」をご覧ください。

## ホットキー機能の使用

外付けキーボードには、いくつかのファンクションキーがあります。ファンクションキーを押すと、関連付けられた機能をすばやく操作できます（ホットキー機能）。


キー操作	説明
【F1】	スピーカのオン/オフを切り替えます。
【F2】	スピーカの音量を下げます。
【F3】	スピーカの音量を上げます。
【F4】	マイクのオン/オフを切り替えます。（ミュート機能）
【F5】	液晶ディスプレイの輝度が下がります。
【F6】	液晶ディスプレイの輝度が上がります。
【F7】	チャームバーの「設定」を表示します。
【F8】	チャームバーの「検索」を表示します。
【F9】	開いているすべてのアプリケーションを表示します。
【F10】	すべてのアプリケーションを表示します。




### チェック

ご購入時の状態では、ファンクションキーを押すとスピーカの音量を上げるなどファンクションキーに割り当てられた機能が使用できます。

【F1】から【F12】として使用するには、【Fn】を押しながらファンクションキーを押します。

【Fn】とファンクションキーの組み合わせを逆転することができます。【Fn】を押しながら【Esc】を押すと液晶ディスプレイ下部に  が表示されます。この状態で、ファンクションキーを押すと【F1】から【F12】として使用できます。スピーカの音量を上げるなどの機能を使用するには、【Fn】を押してファンクションキーを押します。

元に戻すには、【Fn】を押しながら【Esc】を押します。液晶ディスプレイ下部に  が表示されます。

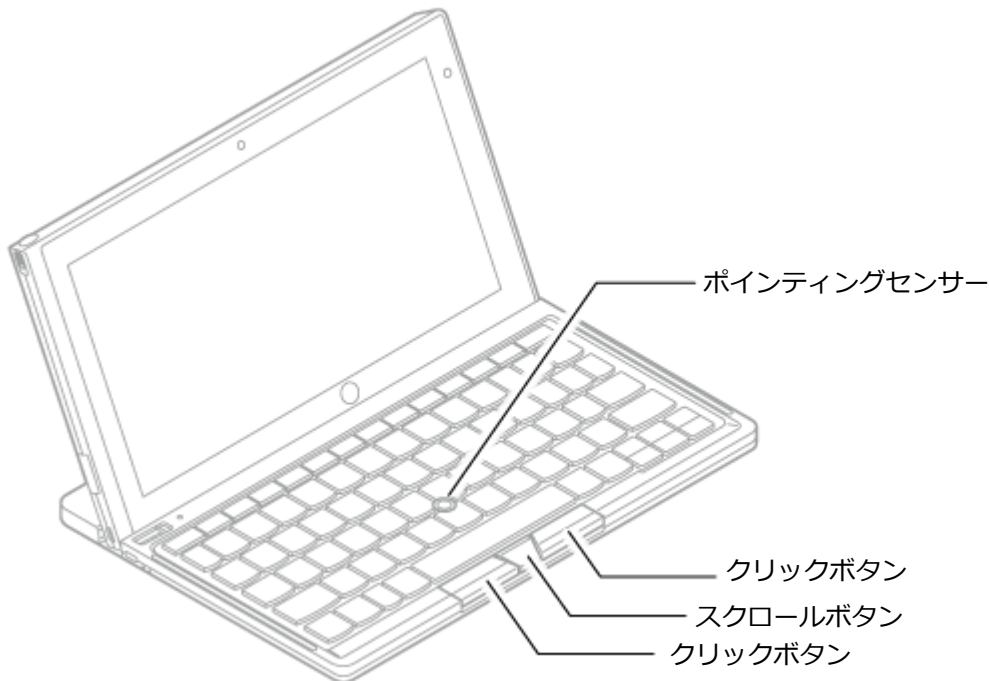
【Fn】を押しながら【Esc】を押すと、「NEC オンスクリーン・ディスプレイ」が表示され、次の設定ができます。

- 「はい、記憶します」  
ファンクションキーなどを押したとき、機能を実行し、液晶ディスプレイ下部にアイコンが表示されません。
- 「不要」  
ファンクションキーなどを押したとき、機能を実行しますが、液晶ディスプレイにアイコンは表示されません。

「はい、記憶します」、「不要」を選択、または「今後、このメッセージを表示しない」をチェックして画面を閉じると、今後「NEC オンスクリーン・ディスプレイ」は表示されません。

## ポインティングデバイスの使用

ポインティングデバイスは、ポインティングセンサー、2つのクリックボタン、およびスクロールボタンで構成されます。



名称	役割
ポインティングセンサー	ここに指先を置き、移動させたい方向にスライドさせると、マウスポインタが動きます。
クリックボタン	左右2つのボタンがあります。左側のボタンは主に操作の決定などに使い、右側のボタンはマウスポインタが示す場所に関連するメニューを表示するときなどに使います。
スクロールボタン	画面に内容を表示しきれないときに、スクロールボタンを押しながらポインティングセンサーをスライドすることで、画面の表示範囲を変え（スクロール）、隠れている部分を表示できます。

## 外付けキーボードのリセット



### チェック

外付けキーボードをリセットすると工場出荷時の設定に戻り、外付けキーボードに保存されたペアリング情報はすべて削除されます。使用する前にペアリングを行ってください。

- 1 外付けキーボードにUSBケーブルが接続されている場合は取り外す
- 2 外付けキーボードの電源が入っている場合は、外付けキーボードの電源スイッチを右に3秒以上スライドし、電源を切る
- 3 【Esc】と【Delete】を押しながら、外付けキーボードの電源スイッチを右にスライドする

電源ランプがオレンジ色と緑色の交互に点滅し、消灯します。外付けキーボードが工場出荷時の設定に戻ります。

---

# セキュリティ

---

[080000-08]

▶ パスワードの使用.....	70
▶ ファイアウォールの使用.....	74
▶ ウイルスからのデータの保護.....	75

# パスワードの使用

[080101-08]

パスワードを設定すると、他人が本機を使用できないようになります。本機の電源を入れるたびに画面にプロンプトが表示されます。この時に、パスワードを入力します。正しいパスワードを入力しないと、本機は使用できません。

## パスワードおよびスリープ状態

Windowsパスワードを設定しているときにスリープ状態になると、操作を再開するときにパスワードの入力が求められます。

電子メールアドレスをWindowsにサインインするユーザーアカウントとして使用する場合は、操作を再開するときに電子メールパスワードを入力します。

## スーパーバイザパスワード

BIOSセットアップユーティリティにスーパーバイザパスワードを設定している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動するときにスーパーバイザパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。

スーパーバイザパスワードは、BIOSセットアップユーティリティに保存されているシステム情報の保護に使用されます。スーパーバイザパスワードを知らなければ、だれも本機の構成を変更できません。



### チェック

システム管理者は、管理を容易にするために、多数の本機に対して同じスーパーバイザパスワードを設定することができます。

## スーパーバイザパスワードの設定

スーパーバイザパスワードの設定はシステム管理者のみ実行できます。

スーパーバイザパスワードを設定するには、次のようにします。

**1** 開いたファイルをすべて保存し、すべてのアプリケーションを終了する

**2** 本機の電源を切り、再び入れる

**3** ログ画面が表示されたら、電源スイッチと音量ボタン (+) を同時に押す

BIOSセットアップユーティリティのメインメニューが開きます

**4** 「Security」をタップ

**5** 「Password」をタップ

**6** 「Supervisor Password」をタップ

新規パスワードの入力を求めるウィンドウが開きます。

## 7 「Enter New Password」フィールドに新しいパスワードを入力し、【Enter】を押す

## 8 「Confirm New Password」フィールドにパスワードを再度入力し、【Enter】を押す

パスワードは忘れないようにしてください。  
「Setup Confirmation」ウィンドウが開きます。



### チェック

設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードは本機を再セットアップしても解除できません。パスワードを忘れてしまった場合、有償での解除処置となります。

- パスワード解除処置は、保証期限内でも有償です。
- パスワード解除処置は、NECでの対応となります。
- パスワード解除処置は、原則として修理対応となりますので、121コンタクトセンターへお問い合わせください。



### 参照

#### NECのお問い合わせ先について

『保証規定&修理に関するご案内』

## 9 「OK」をタップ

「Setup Confirmation」ウィンドウが閉じます。  
次回からBIOSセットアップユーティリティを表示すると、パスワードの入力が求められえます。

## スーパーバイザパスワードの変更

スーパーバイザパスワードの変更はシステム管理者のみ実行できます。  
スーパーバイザパスワードを変更するには、次のようにします。

### 1 開いたファイルをすべて保存し、すべてのアプリケーションを終了

### 2 本機の電源を切り、再び入れる

### 3 ログ画面が表示されたら、電源スイッチと音量ボタン（+）を同時に押す

BIOSセットアップユーティリティのメインメニューが開きます

### 4 「Security」をタップ

## 5 「Password」をタップ

## 6 「Supervisor Password」をタップ

新規パスワードの入力を求めるウィンドウが開きます。

## 7 「Enter Current Password」フィールドに現在のパスワードを入力し、【Enter】を押す

## 8 「Enter New Password」フィールドに新しいパスワードを入力し、【Enter】を押す

## 9 「Confirm New Password」フィールドに新しいパスワードを再度入力し、【Enter】を押す

パスワードは忘れないようにしてください。  
「Setup Confirmation」ウィンドウが開きます。



### チェック

設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードは本機を再セットアップしても解除できません。パスワードを忘れてしまった場合、有償での解除処置となります。

- パスワード解除処置は、保証期限内でも有償です。
- パスワード解除処置は、NECでの対応となります。
- パスワード解除処置は、原則として修理対応となりますので、121コンタクトセンターへお問い合わせください。



### 参照

NECのお問い合わせ先について  
『保証規定&修理に関するご案内』

## 10 「OK」をタップ

「Setup Confirmation」ウィンドウが閉じます。

## スーパバイザパスワードの取り消し

スーパバイザパスワードの取り消しは、システム管理者のみ実行できます。  
スーパバイザパスワードを取り消すには、次のようにします。

### 1 開いたファイルをすべて保存し、すべてのアプリケーションを終了

### 2 本機の電源を切り、再び入れる

### 3 ログ画面が表示されたら、電源スイッチと音量ボタン (+) を同時に押す



BIOSセットアップユーティリティのメインメニューが開きます

---

**4** 「Security」をタップ

---

**5** 「Password」をタップ

---

**6** 「Supervisor Password」をタップ

新規パスワードの入力を求めるウィンドウが開きます。

---

**7** 「Enter Current Password」フィールドに現在のパスワードを入力し、【Enter】を押す

---

**8** 「Enter New Password」フィールドは空白のまま、【Enter】を押す

---

**9** 「Confirm New Password」フィールドは空白のまま、【Enter】を押す

「Setup Confirmation」ウィンドウが開きます。

---

**10** 「OK」をタップ

「Setup Confirmation」ウィンドウが閉じます。

---

# ファイアウォールの使用

---

[080201-08]

お使いのシステムにファイアウォールプログラムがインストールされていると、インターネットからの不正なアクセス、侵入、インターネット攻撃から本機を保護します。また、プライバシーも保護します。

本機にインストールされているOSでは、標準で「Windows ファイアウォール」機能が有効になっています。「Windows ファイアウォール」について、詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

# ウイルスからのデータの保護

---

[080301-08]

お使いのシステムにファイアウォールプログラムがインストールされていると、インターネットからの不正なアクセス、侵入、インターネット攻撃から本機を保護します。また、プライバシーも保護します。

ファイアウォールプログラムの使用について詳しくは、プログラムに付属のオンラインヘルプを参照してください。



参照

**ウイルスバスター**

「アプリケーションのインストール/アンインストール」 - 「ウイルスバスター (P. 95)」

# BIOS設定およびTCO機能

---

[090000-08]

▶ BIOSセットアップユーティリティ.....	77
▶ システム管理の使用.....	84

# BIOSセットアップユーティリティ

[090101-08]

▶ BIOSセットアップユーティリティの表示. . . . .	77
▶ 「Main」メニュー. . . . .	78
▶ 「Config」メニュー. . . . .	78
▶ 「Date/Time」メニュー. . . . .	79
▶ 「Security」メニュー. . . . .	80
▶ 「Startup」メニュー. . . . .	82
▶ 「Restart」メニュー. . . . .	83

## BIOSセットアップユーティリティの表示

本機には、各種のセットアップパラメーターを選択するためのBIOSセットアップユーティリティが組み込まれています。



### チェック

BIOSセットアップユーティリティをタッチパネルで操作する場合は、指でタップして操作してください。デジタイザペンを使用しないでください。

BIOSセットアップユーティリティを表示するには、次のようにします。

### 1 本機の電源を切り、再び入れる

### 2 ログ画面が表示されたら、電源スイッチと音量ボタン (+) を同時に押す

BIOSセットアップユーティリティのメインメニューが開きます



### チェック

スーパーバイザパスワードを設定している場合は、パスワード入力後にBIOSセットアップユーティリティのメインメニューが表示されます。  
スーパーバイザパスワードを入力する代わりに、何も入力せずに【Enter】をタップしてもBIOSセットアップユーティリティのメインメニューが表示されますが、この場合、スーパーバイザパスワードで保護されているパラメーターが変更できません。

### 3 変更したい項目をタップ

サブメニューが表示されます。

### 4 サブメニューを終了するには「Esc」をタップ

## 5 さらに下の階層のサブメニューを開いている場合は、BIOSセットアップユーティリティのメインメニューが表示されるまで「Esc」をタップ



### チェック

購入時の状態に設定値を復元したい場合は、「Restart」サブメニューにある「Load Setup Defaults」をタップし、「Setup Confirmation」ウィンドウで「Yes」をタップします。

## 6 「Restart」をタップ

## 7 「Exit Saving Changes」もしくは「Exit Discarding Changes」をタップ

「Exit Saving Changes」は、変更を保存して終了します。設定の保存についての確認画面が表示された場合は、「Yes」をタップしてください。

「Exit Discarding Changes」は、変更を保存せずに終了します。設定の保存についての確認画面が表示された場合は、「No」をタップしてください。

本機が再起動します。

## 「Main」メニュー

「Main」メニューは、BIOSセットアップユーティリティを開くと最初に表示される画面です。このメニューには、本機の情報が表示されます。

- UEFI BIOS version
- UEFI BIOS Date (Year-Month-Date)
- Machine Type Model
- System-unit serial number
- CPU Type
- CPU Speed
- Installed Memory
- UUID
- UEFI Secure Boot

## 「Config」メニュー

「Config」メニューは、電源や処理速度制御などの設定を変更できます。BIOSセットアップユーティリティを表示し、「Config」をタップすると表示されます。

次の表に、「Config」メニュー項目を示します。

設定値欄の【】で囲まれた値は、工場出荷時の設定です。

メニュー項目	サブメニュー項目	設定値	説明
Power	Disable Built-in Battery	【Enter】	保守作業時など、一時的に内蔵バッテリーを無効にしたい場合に「Enter」をタップします。

			「一時的に内蔵バッテリーを無効にする (P. 79)」を参照してください。
	Cool mode	Enabled 【Disabled】	「Enabled」に設定すると、本機外装の温度上昇を抑えますが、処理速度は2割落ち込みます。 「Disabled」に設定すると、動画再生など本機に高負荷がかかったときに外装が熱くなります。
Debug Port	Debug Port	【Disabled】 Enabled	「Enabled」に設定すると、デバッグポートを使用できるようになります。

## 一時的に内蔵バッテリーを無効にする

保守作業時など、本機の内蔵バッテリーを一時的に無効にする場合は、次のようにします。

### 1 「Power」をタップ

### 2 「Disable Built-in Battery」をタップ

「Warning」ウィンドウが開きます。

### 3 本機のDC入力コネクタからUSBケーブルを取り外す

本機が内蔵バッテリーで動作している状態にします。

### 4 「Yes」をタップ

本機の電源が自動的に切れます。

### 5 保守作業を行う

### 6 保守作業が終わったら、本機のDC入力コネクタを使用して電源に接続する

ACアダプタから電源が供給されると、内蔵バッテリーが自動的に有効になります。

## 「Date/Time」メニュー

「Date/Time」メニューは、日付と時刻を変更できます。BIOSセットアップユーティリティを表示し、「Date/Time」をタップすると表示されます。

次のメニューが表示されます。

- System Date
- System Time

## 日付と時間を変更する

### 1 変更する項目（日付または時刻）をタップ

タッチキーボードが表示されます。

### 2 日付または時刻を入力し、【Enter】をタップ

## 「Security」メニュー

「Security」メニューは、本機のセキュリティ機能を設定します。BIOSセットアップユーティリティを表示し、「Security」をタップすると表示されます。

次の表に、「Security」メニュー項目を示します。

設定値欄の【】で囲まれた値は、工場出荷時の設定です。

メニュー項目	サブメニュー項目	設定値	説明
Password	Supervisor Password	<b>【Enter】</b>	「スーパーバイザパスワード (P. 70)」を参照してください。
	Password Status	Disabled	パスワード利用の状態が表示されます。
Security Chip	Security Chip	Disabled <b>【Enabled】</b>	BIOSでのTPMの利用を設定します。
	Clear Security Chip at next boot	<b>【No】</b> Yes	「Yes」にすると、次回起動時に暗号鍵をクリアします。
UEFI BIOS Update Option	Secure RollBack Prevention	Disabled <b>【Enabled】</b>	「Disabled」に設定すると、以前のバージョンへBIOSをアップデートできます。 「Enabled」に設定すると、以前のバージョンへBIOSをアップデートできません。
I/O Port Access	Wireless LAN	Disabled <b>【Enabled】</b>	「Disabled」に設定すると、無線LANを無効にします。
	Wireless WAN	Disabled <b>【Enabled】</b>	「Disabled」に設定すると、無線WANを無効にします。
	Bluetooth	Disabled <b>【Enabled】</b>	「Disabled」に設定すると、Bluetoothを無効にします。



	USB Port	Disabled <b>【Enabled】</b>	「Disabled」に設定すると、USBコネクタを無効にします。
	Memory Card Slot	Disabled <b>【Enabled】</b>	「Disabled」に設定すると、microSDカードスロットを無効にします。
	Integrated Camera	Disabled <b>【Enabled】</b>	「Disabled」に設定すると、Webカメラを無効にします。
	NFC	Disabled <b>【Enabled】</b>	本機では使用しません。
Secure Boot	Secure Boot	Disabled <b>【Enabled】</b>	UEFI Secure Boot機能を有効または無効にします。Windows 8では「Enabled」に設定してください。
	Platform Mode	<b>【User Mode】</b> Setup Mode	システムのオペレーティングモードを指定します。
	Secure Boot Mode	<b>【Standard Mode】</b> Custom Mode	Secure Boot ModeがStandard ModeかCustom Modeかを指定します。
	Restore Factory Keys	Enter	Secure Bootデータベースのすべてのキーと証明書を工場出荷時の状態に戻します。設定済のSecure Boot設定は消去され、Windows 8用の証明書を含む元の署名データベースとともに、工場出荷時のプラットフォームキーが再構築されます。
	Reset to Setup Mode	Enter	現在のプラットフォームキーをクリアして、システムをSetup Modeにするために使用します。 Setup Modeで、独自のプラットフォームキーをインストールし、Secure Boot署名データベースをカスタマイズできます。 Secure Boot Modeが

			Custom Modeに設定されます。
Anti-Theft	Computrace	Computrace Module Activation - Current Setting	Disabled <b>【Enabled】</b> Permanently Disabled Computrace Moduleを設定します。「Disabled」に設定すると、Computrace Activationを無効にします。「Enabled」に設定すると、Computrace Activationを有効にします。「Permanently Disabled」に設定すると、Computrace Activationを永久に有効にしません。
		Computrace Module Activation - Current State	<b>【Not Activated】</b> Activated Computrace Moduleの状態が表示されます。

## 「Startup」メニュー

「Startup」メニューは、本機に接続されたデバイスの起動の優先順位を設定できます。BIOSセットアップユーティリティを表示し、「Startup」をタップすると表示されます。



### チェック

- デバイスの起動優先順位を変更したあとは、コピー、保存、フォーマット操作などで誤ったデバイスを指定しないよう、細心の注意が必要です。デバイスを誤って指定すると、データやプログラムが消されたり、上書きされたりすることがあります。
- BitLockerドライブ暗号化を使用している場合は、起動順序を変更しないでください。BitLockerドライブ暗号化によって起動順序の変更が検出され、本機の起動がロックされます。

## デバイスの起動優先順位を変更する

デバイスの起動優先順位を変更するには、次のようにします。

### 1 「Boot」をタップ

デバイスの起動順序を示すリストが、インストールや接続の有無に関係なく表示されます。

### 2 起動順序を上げたいデバイスをタップし、「+/- Change Values」をタップ

### 3 「F10 Save and Exit」をタップ

「Setup Confirmation」ウィンドウが開きます。

### 4 「Yes」をタップ

「Setup Confirmation」ウィンドウが閉じ、本機が再起動します。

## 「Startup」メニューの項目

次の表に、「Startup」メニュー項目を示します。

設定値欄の【】で囲まれた値は、工場出荷時の設定です。

メニュー項目	設定値	説明
Boot	—	「デバイスの起動優先順位を変更する (P. 82)」を参照してください。
Boot Device list F12 Option	Disabled 【Enabled】	「Enabled」に設定すると、本機の電源を入れた直後のNECロゴ表示中に【F12】キーを押すことで、Bootメニューが表示されます。起動するデバイスを選択できます。
Boot Order Lock	【Disabled】 Enabled	「Enabled」に設定すると、デバイスの起動優先順位をロックします。

## 「Restart」メニュー

BIOSセットアップユーティリティを終了して本機を再起動するときに選択します。

BIOSセットアップユーティリティを表示し、「Restart」をタップすると表示されます。

メニュー項目	設定値	説明
Exit Saving Changes	—	変更を保存して本機を再起動します。
Exit Discarding Changes	—	変更を保存せずに本機を再起動します。
Load Setup Defaults	—	工場出荷時の設定値に戻します。 「Security」メニューなど一部の設定項目では工場出荷時の設定値に戻りません。
Discard Changes	—	変更内容を破棄します。
Save Changes	—	変更内容を保存します。

# システム管理の使用

[090201-08]

主にネットワーク管理者を対象として説明しています。

本機は、システム管理機能によって日常の管理が容易に行えるように設計されています。

本機は、システム管理機能（TCO（Total Cost of Ownership）機能）により、本機の電源を入れたり、ハードディスクドライブをフォーマットしたり、ソフトウェアをインストールしたりするなど、自分の機器であるように本機をリモートで操作できます。

本機を設定することで、クライアントシステムおよびネットワーク上ですでに統合されているソフトウェアの管理機能を使用して、システムを管理できるようになります。

## システム管理

### Desktop Management Interface

本機のBIOSは、System Management BIOS Reference Specification（SMBIOS）V2.6.1と呼ばれるインターフェースをサポートします。

SMBIOSはシステムのハードウェア コンポーネントに関する情報を提供します。BIOSの役目は、BIOS自体の情報とシステム ボード上の装置に関する情報についてデータベースを提供することです。

### Preboot eXecution Environment

Preboot eXecution Environment（PXE）テクノロジー（PXE 2.1準拠）によって、サーバーから起動する（オペレーティング システムまたは別の実行可能イメージをロードする）機能が備わり、本機の管理を効率的に行うことができます。本機は、PXEに必要なパーソナル タブレット機能をサポートしています。適切なLANカードを使用することで、PXEサーバーから起動できます。



#### チェック

本機はRemote Program Load（RPL）が使用できません。

### Asset ID EEPROM

Asset ID EEPROMには、主要コンポーネントの構成やシリアル番号などのシステムに関する情報が含まれます。また、ネットワークのエンド ユーザーに関する情報を記録できる空のフィールドが複数あります。

## 管理機能の設定

ネットワーク管理者は、次の要件が満たすことで、管理用コンソールからリモートに本機のシステム プログラムを更新できます。

- LANを介して本機を起動すること
- 本機にPreboot eXecution Environmentが必要
- リモートの管理者のタブレットに、ネットワーク管理ソフトウェアをインストールすること

# アプリケーションのインストール/アンインストール

---

[060000-28]

▶ 便利な機能とアプリケーション. . . . .	86
▶ インストール/アンインストールについて. . . . .	87
▶ ソフトウェア占有量について. . . . .	89
▶ Office Home and Business 2013. . . . .	90
▶ ウイルスバスター. . . . .	95
▶ Adobe Reader. . . . .	101
▶ スレートPC表示変更ツール. . . . .	104
▶ mazec for Windows. . . . .	107
▶ バッテリ診断ツール. . . . .	109

# 便利な機能とアプリケーション

[060100-28]

本機にインストール、または添付されているアプリケーションはモデルによって異なります。

## 標準でインストール、または添付されているアプリケーション

アプリケーション	機能
ウイルスバスター	コンピュータウイルスを検出して除去する
Adobe Reader	PDF形式のマニュアルを表示、閲覧、印刷する
スレートPC表示変更ツール	コンピュータの設定を行う
バッテリー診断ツール	バッテリーの性能診断
ハードディスクデータ消去ツール ※1	SSDのデータを消去する

※1 機能の詳細、使用方法については「ハードディスクのデータ消去 (P. 143)」をご覧ください。

## モデルによってインストール、または添付されているアプリケーション

### ◆Office Home and Business 2013モデル

アプリケーション	機能
Word 2013	文章を作成する HTMLを作成する
Excel 2013	表計算をする
Outlook 2013	予定やスケジュールを管理する 住所録を作る ファイルを管理する 電子メールを送受信する
PowerPoint 2013	プレゼンテーションや企画書を作成する
OneNote 2013	電子ノートブック機能

# インストール/アンインストールについて

[060200-28]

本機にインストールまたは添付されているアプリケーションの概要とインストール方法およびアンインストール方法について説明します。

インストールやアンインストールをする場合、Windowsおよびインストールされているアプリケーションについての知識が必要になります。

## ■ インストールについて

本機にインストール、または添付されているアプリケーションをインストールする場合の手順を説明します。



### チェック

- アプリケーションのインストールは、必ず管理者（ユーザー名は半角英数字）でサインインして行ってください。
- 再セットアップ、PCリセットおよびPCリフレッシュの後に続けてアプリケーションのインストールを行う場合は必ずWindowsの再起動後に行ってください。
- アプリケーションの修復インストールはできません。  
いったんアンインストールしてから、インストールし直してください。



### メモ

「管理者」とはAdministrator権限を持つユーザーを指し、コンピュータの全体的な構成を管理することができます。  
ユーザー アカウントに関する詳細についてはWindowsのヘルプをご覧ください。

## ■ アンインストールについて

本機にインストールされているアプリケーションまたは購入後にインストールされた本機添付のアプリケーションのアンインストールの手順を説明します。

ご自分でインストールされた別売のアプリケーションのアンインストールについては、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。



## チェック

- アプリケーションのアンインストールは、必ず管理者（ユーザー名は半角英数字）でサインインして行ってください。
- 「コントロール パネル」の「プログラムのアンインストール」で、アプリケーションを選択して「アンインストール」、または「アンインストールと変更」をタップした後は、中断してもそのままではアプリケーションを使用できない場合があります。  
その際にはWindowsを再起動後、アプリケーションを使用してください。
- アプリケーションをアンインストールした後に、システムの復元機能でアンインストール前の状態に復元しても、復元されたアプリケーションは正常に動作しない場合があります。  
また、復元されたアプリケーションを「コントロール パネル」の「プログラムのアンインストール」からアンインストールしても、アンインストールできない場合があります。  
その場合は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。インストールの操作を行ってください。  
復元の状況によって、インストールもしくはアンインストールが開始されます。  
アンインストールが開始されたら、画面の指示に従い、アンインストールを行ってください。  
インストールが開始されたら、画面の指示に従ってインストールを行い、インストール完了後にマニュアルをご覧ください。
- 本マニュアルを表示しながらアンインストールの操作をすることができます。
- アプリケーションのアンインストール中に、すでにアンインストールされている旨のメッセージが表示されることがあります。その場合でも正常にアンインストールは完了しており、動作に影響はありません。



# ソフトウェア占有量について

---

[060300-00]

ソフトウェア占有量については、下記のリンクよりご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201305/bios/v1/mst/index.html>

# Office Home and Business 2013

[060700-08]

概要	90
初回起動手順	90
使用上の注意	92
インストール	92
アンインストール	93

## 概要

Word 2013、Excel 2013、Outlook 2013、PowerPoint 2013、OneNote 2013が同梱されています。  
機能の詳細や操作方法、最新情報については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアル、および各Office アプリケーションのヘルプ



#### チェック

本機では、OneNoteでWebカメラから動画を録画することはできません。

### ●Office Home and Business 2013の最新の情報

<http://office.microsoft.com/ja-jp/>



#### チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

## 初回起動手順

Office Home and Business 2013では、工場出荷時の状態で、Office Home and Business 2013のセットアップ モジュールがインストールされています。

初回起動によりライセンス認証を含めインストールを完了させる必要があります。

以下の初回起動手順を行ってください。

ライセンス認証については、Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアル、各Office アプリケーションのヘルプ、または下記ホームページを参照してください。

<http://office.microsoft.com/ja-jp/>



## チェック

- 初回起動はインターネットに接続した環境で行ってください。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。
- 初回起動手順を実施中に「ライセンスを確認できませんでした」と表示される場合があります。

文書番号：2813348

「Office 2013 のインストール中にアプリケーションを起動すると "ライセンスを確認できませんでした" メッセージが表示される場合がある」

詳しくは「[サポート技術情報について \(P. 10\)](#)」を参照してください。

## 1 スタート画面の「Microsoft Office」をタップ

## 2 「Office をお選びいただき、ありがとうございます。それでは始めましょう。」と表示されたら、「ライセンス認証」をタップ

## 3 「プロダクト キーを入力してください」と表示されたら、プロダクト キーを入力し、「インストール」ボタンをタップ

Office のインストールが開始されます。



## チェック

プロダクト キーは添付されている Office Home and Business 2013 のパッケージに同梱されています。

## 4 「新しい Office へようこそ。」と表示されたら、「次へ」をタップ

## 5 「最初に行う設定です。」と表示されたら、「Office の品質向上に役立つ情報を Microsoft に送る」または「いいえ」のいずれかをタップする

## 6 画面右下にある「使用許諾契約書を読む」をタップし、内容を確認後、「同意する」をタップ

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。



### チェック

以下の画面が表示されますので、内容の確認や設定を行ってください。

- 「サインインして Office を最大限に活用しましょう。」
- 「SkyDrive についての説明をご覧ください。」
- 「新機能に関する説明をご覧ください。」

## 7 「準備が整いました。」と表示されたら、「完了」ボタンをタップ

以上で初回起動手順は終了です。

### 使用上の注意

#### Microsoft® Updateについて

Office の安定性と安全性を向上させるための更新プログラムが提供されています。

Office を最新の状態に保つために、Microsoft® Updateを定期的に実施してください。



### チェック

- Microsoft® Updateを行うにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- Microsoft® Updateは必ずOfficeの「初回起動手順 (P. 90)」を済ませてから実施してください。

### その他

- 以下の場合にイベントビューアに「警告」または「エラー」が表示されることがありますが、動作上問題ありません。
  - Office Home and Business 2013をインストールした時
  - 新規ユーザーでサインイン後、Office Home and Business 2013に含まれるアプリケーションのいずれかを初めて起動した時
- Office に含まれるアプリケーションを起動した状態ではスリープ状態にできない場合があります。その場合は、アプリケーションを終了させてから再度スリープ状態にしてください。
- Office に含まれるアプリケーションを起動した状態でWindowsを終了するとエラーが表示される場合があります。すべてのアプリケーションを終了してからWindowsを終了してください。
- カスタムテキストサイズの設定 (DPI) を既定の100%から125%に変更した場合、以下の問題が発生しますが動作上問題ありません。
  - Word 2013の書式設定と編集の制限ウィンドウが表示不正となる

### インストール

ここでは、工場出荷時と同じ状態にインストールする方法を説明します。

その他のインストール方法については、Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアルをご覧ください。



### チェック

インストールを行うには、インターネットへの接続環境が必要となります。

## Office Home and Business 2013のインストール

Internet Explorerのお気に入りに登録されている「Office を再インストールする」へアクセスするか、Office Home and Business 2013に同梱されているマニュアルの説明に従って、再インストールを行ってください。

### アンインストール



#### チェック

- Office Home and Business 2013のアンインストール後にInternet Explorerでの長押しメニューに表示が残る問題が発生する場合があります。

文書番号：826917

「Internet Explorer で "Microsoft Excel にエクスポート" コマンドを使用しようとしても何も起こらない」

文書番号：2212044

「Internet Explorer で [OneNote に送る] コマンドが機能しない」

詳しくは「[サポート技術情報について \(P. 10\)](#)」を参照してください。

- Office Home and Business 2013に含まれるアプリケーションを起動している場合は、終了させてください。

## 「Microsoft SkyDrive」のアンインストール



#### チェック

「プログラムのアンインストール」に「Microsoft SkyDrive」と表示されている場合は、以下の手順を行ってください。

表示されていない場合は、「Office Home and Business 2013のアンインストール (P. 94)」へ進んでください。

1

Windowsを起動する

2

「コントロール パネル (P. 8)」を表示する

3

「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をタップ

4

「Microsoft SkyDrive」を選択し、「アンインストール」をタップ

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

## 5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上で「Microsoft SkyDrive」のアンインストールは終了です。

次に「Office Home and Business 2013のアンインストール (P. 94)」へ進んでください。

## Office Home and Business 2013のアンインストール

### 1 Windowsを起動する

### 2 「コントロール パネル (P. 8)」を表示する

### 3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をタップ

### 4 「Microsoft Office」を選択し、「アンインストール」をタップ



#### チェック

「Microsoft Office Home and Business 2013 - ja-jp」と表示される場合もあります。

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

### 5 アンインストールが完了したら、「閉じる」ボタンをタップ

### 6 Windowsを再起動する

再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをタップしてください。

以上でOffice Home and Business 2013のアンインストールは終了です。

# ウイルスバスター

[061000-28]

概要	95
使用上の注意	96
インストール	99
アンインストール	100

## 概要

ウイルスバスターはコンピュータウイルスの検出、識別、および除去を行うウイルス対策ソフトです。機能の詳細、操作方法、制限事項、および最新情報については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

定期的にウイルスを検索する予約スキャン、ネットワークなどを経由したウイルスの侵入を常に見張る機能やウイルスを駆除する機能などがあります。

ヘルプ (アプリ画面 (P. 8)→「ウイルスバスター クラウド」→「ウイルスバスター ヘルプ」をタップ)



### チェック

- ウイルスバスターのヘルプやサポート情報を確認するには、インターネットに接続している必要があります。
- マルチランゲージには対応していません。

### ●動作環境、制限事項に関する情報

Readme (Cドライブ「DRV」フォルダ内の「VB」フォルダにある「readme.htm」をダブルタップ) および、下記トレンドマイクロQ&Aページをご覧ください。

<http://esupport.trendmicro.com/solution/ja-JP/1313877.aspx>

### ●ウイルスバスターの最新の情報

<http://www.trendmicro.co.jp>



## チェック

- ウイルスバスターに関する緊急アップデート等の重要な製品情報が掲載されますので、トレンドマイクロのホームページにて定期的に最新情報を確認することをおすすめします。
- コンピュータウイルスを検出した場合は、「トラブルの予防と解決のヒント」の「ウイルスから守る (P. 122)」をご覧ください。
- 本製品に添付のウイルスバスター「迷惑メール対策」機能は、Outlook 2013には対応していません。詳しくは、トレンドマイクロの下記Q&Aページをご覧ください。

[http://tmqa.jp/Ti6faq\\_office2013/](http://tmqa.jp/Ti6faq_office2013/)

## 起動方法

1

アプリ画面 (P. 8)を表示する

2

アプリの一覧で「ウイルスバスター クラウド」→「ウイルスバスターの表示」をタップ

ウイルスバスターの画面が表示されます。

## 使用上の注意

### ウイルスバスターについて

本機に添付のウイルスバスターではパターンファイルの大半をインターネット上に配置しており、インターネット経由で常に最新の防御情報を得ることによりクライアント上の安全性維持を実現しています。

インターネット上のパターンファイルを利用することで、最新の脅威に対抗し安全性をより高めることができるため、インターネットに常時接続した環境でウイルスバスターをご利用ください。



## チェック

- ウイルスバスターのアップデートやクラウドを使用したウイルスチェックなどはインターネット接続が必要となるため、インターネット接続料金や電話料金などがかかります。特に携帯電話など、インターネット接続を従量制で契約されている場合は通信料金にご注意ください。
- インターネットに接続していない場合は、パソコンに保存されている情報をもとにウイルスチェックを行うため、最新の情報でない場合があります。
- コンピュータ全体のバックアップを定期的に作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまった場合にも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

### オンラインユーザ登録について

ウイルスバスターをインストール後、インターネットに接続することで自動的にユーザー登録されます。登録状況を確認するときは、次の手順で行います。





### チェック

- セキュリティの警告メッセージが表示された場合は、「はい」 ボタンをタップしてください。
- ユーザ登録するにはインターネットに接続できる環境が必要です。
- ウイルスバスターをインストール後、3日以内にユーザー登録を行わないとウイルス検索などのすべての機能が停止しますので、インターネットに接続し、ユーザー登録を完了させてください。

1

アプリ画面 (P. 8)を表示する

2

アプリの一覧で「ウイルスバスター クラウド」 → 「ウイルスバスターの表示」をタップ

3

「ホーム」にある「シリアル番号（以下をクリック）」を確認する

「未登録」と表示されている場合は、手順4へ進んでください。  
有効期限が表示されている場合は、ここで終了です。

4

「未登録」をタップ

5

「お客さま情報」画面の有効期限が表示されていることを確認する

試用期間はインターネット接続後、90日間です。

90日間は無料で試用することができますが、試用期間が終了するとすべての機能が利用できなくなります。

引き続きお使いになる場合は、ウイルスバスターを購入する必要があります。

購入に関する詳細な情報は以下のホームページをご覧ください。

<http://www.trendmicro.co.jp>

以上でオンラインユーザ登録は終了です。

次に「アップデートについて (P. 97)」へ進んでください。

## アップデートについて

本機に添付しているウイルスバスターは、トレンドマイクロのサーバに定期的にアクセスして、新しい脅威に対する最新の保護機能を自動的にダウンロードします。



### チェック

- インストール直後のウイルスバスターは最新の状態でない場合がありますので、最新の状態にアップデートしてください。
- ウイルスバスターのアップデートには、インターネットに接続できる環境が必要です。

アップデートを行うことにより、名称やユーザーインターフェイスなどが変更される可能性があります。  
最新の情報は、お使いのソフトのヘルプをご覧ください。

アップデートが成功しない場合は、インターネットに接続できるか確認してください。  
インターネットに接続できるにもかかわらず、アップデートが成功しない場合は、以下のホームページをご覧ください。

<http://jp.trendmicro.com/jp/support/personal/index.html>

## 予約スキャンについて

ウイルスバスターの予約スキャン機能で、実行タイミングに応じてウイルスの検査を自動的に実行することができます。  
以下の手順で、予約スキャン機能を設定してください。

### 1 Windowsを起動する

### 2 アプリ画面 (P. 8)を表示する

### 3 アプリの一覧で「ウイルスバスター クラウド」→「ウイルスバスターの表示」をタップ

### 4 「コンピュータを守る」をタップし、「コンピュータの保護設定」をタップ

### 5 「ウイルス/スパイウェア対策」の「予約スキャン」をタップし、予約スキャンを開始する時刻と、曜日/毎日/毎月1日のいずれかを設定する

### 6 スキャンの種類を選択する

### 7 設定を変更したら、「適用」ボタンをタップ

### 8 「OK」ボタンをタップ

設定についてはウイルスバスターのヘルプをご覧ください。

以上で予約スキャンの設定は終了です。

## ファイル/フォルダのセキュリティ監視について

アプリケーションのインストール、アンインストール、または使用中に警告を受けたときは、対象のアプリケーションが安全なものであることを確認した上で、ウイルスバスターのヘルプをご覧ください。例外設定に追加してください。

## ボリューム削除時のウィンドウについて

「ディスクの管理」より「ボリュームの削除」を行うと、ボリューム使用中を表す警告ウィンドウが表示される場合がありますが動作に影響はありません。

警告ウィンドウが表示された場合は、「はい」ボタンをタップしてください。

## 有料のサービスについて

「リモートファイルロック」をご使用になる場合は、ウイルスバスター製品版へのアップグレード（有償）が必要です。詳細については、トレンドマイクロ オンラインショップをご覧ください。オンラインショップへは、タスクバーの通知領域にあるウイルスバスターのアイコンを右タップ→「シリアル番号の確認」をタップ→「お客さま情報」画面にある「今すぐ購入」をタップし進んでください。

## インストール

### ウイルスバスターのインストール



#### チェック

- インストールには、ユーザー登録するためのメールアドレスが必要です。登録するメールアドレスを準備してください。
- VersaPro Jをお使いの場合、デスクトップにある「ウイルスバスター クラウド インストール」アイコンをダブルタップすることで簡単にインストールできます。なお、本機を再セットアップした場合、デスクトップに「ウイルスバスター クラウド インストール」アイコンはありません。この場合は、次の手順を行い、ウイルスバスターをインストールしてください。

#### 1 Windowsを起動する

#### 2 アプリ画面 (P. 8)を表示する

#### 3 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をタップ

#### 4 「名前」に「C:¥drv¥Nxsetup.exe」と入力し、「OK」ボタンをタップ

#### 5 「ウイルスバスター クラウド」を選択し、「インストール」ボタンをタップ これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

#### 6 「メールアドレスを入力してください」と表示されたら、メールアドレスを入力し、「完了」ボタンをタップ



#### チェック

- メールアドレスは、ユーザー登録を行うメールアドレスを入力してください。
- トレンドマイクロの最新情報を受信しないときは、「トレンドマイクロの最新情報を受信する」のチェックを外してください。

#### 7 「ウイルスバスター クラウド」画面が表示されたら、「終了」をタップ

以上でウイルスバスターのインストールは終了です。  
次に「[オンラインユーザ登録について \(P. 96\)](#)」へ進んでください。

## ■ アンインストール

### ウイルスバスターのアンインストール

---

**1** Windowsを起動する

---

**2** 「コントロール パネル (P. 8)」を表示する

---

**3** 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をタップ

---

**4** 「ウイルスバスター クラウド」を選択し、「アンインストール」をタップ

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

---

**5** 「正常にアンインストールしました」と表示されたら、「今すぐ再起動」ボタンをタップ

Windowsが再起動します。

---

以上でウイルスバスターのアンインストールは終了です。

概要	101
使用上の注意	102
インストール	102
アンインストール	102

## 概要

Adobe ReaderはPDF (Portable Document Format) 形式のマニュアルの表示、閲覧、印刷を行うことができるビューアです。

機能の詳細、操作方法、および最新情報については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

ヘルプ (Adobe Readerを起動し、「ヘルプ」→「Adobe Reader XI ヘルプ」をタップ)



#### チェック

ヘルプを参照するにはインターネットに接続できる環境が必要です。

### ●Adobe Readerの最新の情報

<http://www.adobe.com/jp/index.html>



#### チェック

Webサイトを定期的にご覧になり、最新情報を確認することをおすすめします。

## 起動方法

1

アプリ画面 (P. 8)を表示する

2

アプリの一覧で「Adobe Reader XI」をタップ



#### チェック

インストール後、初めてお使いになる場合は、起動時に「Adobe Reader XI - パーソナル コンピューターでの使用に関する配布の使用許諾契約」画面が表示されます。

内容を確認し「同意する」ボタンをタップしてください。

Adobe Readerの画面が表示されます。

## 使用上の注意

- マルチランゲージには対応していません。
- Windows 8ではPDF形式のファイルを表示するビューアが標準に搭載されております。Adobe Readerを使用してPDF形式のファイルを表示する場合は下記の手順を行ってください。

### 1 PDF形式のファイルを長押し

### 2 「プログラムから開く」をタップして「Adobe Reader」をタップ

## インストール

### Adobe Readerのインストール

#### 1 Windowsを起動する

#### 2 アプリ画面 (P. 8)を表示する

#### 3 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をタップ

#### 4 「名前」に「C:¥drv¥AdobeReader¥AdbeRdr11003\_ja\_JP.exe」と入力し、「OK」ボタンをタップ

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

#### 5 インストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でAdobe Readerのインストールは終了です。

## アンインストール

### Adobe Readerのアンインストール

#### 1 Windowsを起動する

#### 2 「コントロール パネル (P. 8)」を表示する

#### 3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をタップ

#### 4 「Adobe ReaderXI (11.0.03) - Japanese」を選択し、「アンインストール」をタップ

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

---

## **5** アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

---

以上でAdobe Readerのアンインストールは終了です。

# スレートPC表示変更ツール

[062100-28]

概要	104
使用上の注意	105
インストール	105
アンインストール	106

## 概要

スレートPC表示変更ツールは、デスクトップ利用向けのOS標準の設定モードとタッチ利用にて操作しやすくするためのスレートPC設定モードを用意し、2つのモードを簡単に切り換える設定ツールです。

また、各モードの詳細設定値をカスタマイズすることもできます。

機能の詳細や操作方法については、以下をご覧ください。

### ●機能の詳細や操作方法

スレートPC表示変更ツールのヘルプ（[アプリ画面 \(P. 8\)](#)）→「スレートPC表示変更ツール」→「スレートPC表示変更ツール ヘルプ」)



#### チェック

スレートPC表示変更ツールは、工場出荷状態でインストールされています。

## モードの切り換え方法



#### チェック

モードの切り換えを行った後、Windowsのサインアウトが必要な場合があります。

モードの切り換えを行う前にデータを保存し、アプリケーションを終了させてください。

なお、サインアウト確認画面が表示されなかった場合には、Windowsのサインアウトは必要ありません。

1

### デスクトップの「スレートPC表示変更ツール」をダブルタップ

スレートPC表示変更ツール画面が表示されます。

2

### 表示を切り換える

- 現在の設定が「デスクトップPC設定」の場合  
「スレートPC設定に切り換える」をタップ
- 現在の設定が「スレートPC設定」の場合  
「デスクトップPC設定に切り換える」をタップ

表示が切り換わるまでしばらく時間がかかります。



### 3 サインアウト確認画面が表示された場合は、「今すぐサインアウト」をタップ

## 使用上の注意

- スレートPC表示変更ツールは、表示の切り換えを行うたびに以下の項目に対してWindowsの設定を変更します。このため、お客さまがコントロールパネル等で個々に変更された設定値は保持されず、切り換え時にスレートPC表示変更ツールによって変更されてしまいますので、ご注意ください。
  - テキストやその他の項目のサイズ (DPI)
  - デスクトップのアイコンサイズ
  - タイトルバーのサイズ/フォントのサイズ/ボタンサイズ
  - ウィンドウの境界の太さ
  - スクロールバーの太さ
  - メニューのサイズ/フォントのサイズ
  - マウスのポインタ
  - 文字入力時のカーソルのサイズ
  - 文字入力時のカーソルの点滅速度
- コントロールパネル等から「テキストやその他の項目の大きさの変更 (DPI)」の変更を行ったり、個人設定でテーマを変更すると、スレートPC表示変更ツールで変更した以下の項目はWindowsによって再設定されてしまいます。この場合は、再度スレートPC表示変更ツールにて表示の切り換えを行ってください。
  - タイトルバーのサイズ/フォントのサイズ/ボタンサイズ
  - ウィンドウの境界の太さ
  - スクロールバーの太さ
  - メニューバーのサイズ/フォントのサイズ
- 「メニューのサイズ、および メニューのフォントサイズ」や「タイトルバーのサイズとフォントサイズ、タイトルのボタンのサイズ」を「大」に設定すると、Windowsの仕様により、「コントロールパネル」 - 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」画面の左下に表示されるプロパティなどの文字列が途切れたり、重なったりする場合があります。

## インストール

### スレートPC表示変更ツールのインストール

#### 1 Windowsを起動する

#### 2 アプリ画面 (P. 8)を表示する

#### 3 アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をタップ

#### 4 「名前」に「C:¥drv¥Nxsetup.exe」と入力し、「OK」ボタンをタップ

#### 5 「スレートPC表示変更ツール」を選択し、「インストール」ボタンをタップ

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

## 6 インストールが完了したら、Windowsを再起動する

---

以上でスレートPC表示変更ツールのインストールは終了です。

## アンインストール

### スレートPC表示変更ツールのアンインストール

---

#### 1 Windowsを起動する

---

#### 2 「コントロール パネル (P. 8)」を表示する

---

#### 3 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をタップ

---

#### 4 「スレートPC表示変更ツール」を選択し、「アンインストール」をタップ

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

---

#### 5 アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

---

以上でスレートPC表示変更ツールのアンインストールは終了です。

# mazec for Windows

[062300-08]

概要	107
使用上の注意	107
インストール	107
アンインストール	108

## 概要

mazec for Windowsはタッチパネル上で手書きした文字をテキストに変換して入力するアプリケーションです。

### ●機能の詳細や操作方法

mazec for Windowsのヘルプ（mazec for Windowsを起動し、画面右上の「?」ボタンをタップ）

## 起動方法

### 1 アプリ画面 (P. 8)を表示する

### 2 アプリの一覧で「mazec」をタップ

mazec for Windowsの画面が表示されます。

## 使用上の注意

- アプリケーションによっては文字を入力できない場合があります。そのようなアプリケーションでは他の入力手段をご使用ください。
- 使用可能期間は、インストールから1年間です。  
引き続きお使いになる場合は、mazec for Windowsの更新手続（有償）が必要です。

## インストール

### mazec for Windowsのインストール



#### チェック

mazec for Windowsを使用するにはJavaをインストールする必要があります。インストールしていない場合、mazec for Windowsを使用できません。

Javaは、Javaの公式Webサイトから入手できます。入手にはインターネットに接続できる環境が必要です。  
<http://java.com/ja/download/>

### 1 Windowsを起動する

### 2 アプリ画面 (P. 8)を表示する

**3** アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をタップ

**4** 「名前」に「C:¥drv¥mazec¥mazecsetup.exe」と入力し、「OK」ボタンをタップ

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

**5** 「InstallShieldウィザードを完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをタップ

**6** Windowsを再起動する

以上でmazec for Windowsのインストールは終了です。

## ■ アンインストール

### mazec for Windowsのアンインストール

**1** Windowsを起動する

**2** 「コントロール パネル (P. 8)」を表示する

**3** 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をタップ

**4** 「mazec-T for Windows」を選択し、「アンインストール」をタップ

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

**5** アンインストールが完了したら、Windowsを再起動する

以上でmazec for Windowsのアンインストールは終了です。

# バッテリー診断ツール

[062400-08]

概要	109
バッテリー診断結果を確認する	109
インストール	109
アンインストール	110

## 概要

「バッテリー診断ツール」を使用することで、バッテリー診断結果を確認することができます。

## 起動方法

**1** アプリ画面 (P. 8)を表示する

**2** アプリの一覧で「バッテリー診断ツール」をタップ

## バッテリー診断結果を確認する

「バッテリー診断ツール」を起動すると、自動的に診断結果が画面に表示されます。



### チェック

- 「バッテリー状態」に「劣化」と表示された場合、バッテリーパックの交換をおすすめします。
- 「バッテリー状態」に「警告」と表示された場合、バッテリーパックを交換してください。

## インストール

### バッテリー診断ツールのインストール

**1** Windowsを起動する

**2** アプリ画面 (P. 8)を表示する

**3** アプリの一覧で「ファイル名を指定して実行」をタップ

**4** 「名前」に「C:¥drv¥Nxsetup.exe」と入力し、「OK」ボタンをタップ

**5** 「バッテリー診断ツール」を選択し、「インストール」ボタンをタップ

**6** 「バッテリー診断ツール セットアップ ウィザードへようこそ」と表示されたら、「次へ」ボタンをタップ

**7** 「バッテリー診断ツールファイル使用中」画面が表示された場合は、「NEC Battery Utility-Scheduler (Process Id: XXXX)」をタップし、「継続」ボタンをタップ

**8** 「インストールが完了しました。」画面が表示されたら、「閉じる」ボタンをタップ

**9** 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをタップ

Windowsが自動的に再起動します。

以上でバッテリー診断ツールのインストールは終了です。

## ■ アンインストール

### バッテリー診断ツールのアンインストール

**1** Windowsを起動する

**2** 「コントロール パネル (P. 8)」を表示する

**3** 「プログラム」の「プログラムのアンインストール」をタップ

**4** 「バッテリー診断ツール」を選択し、「アンインストール」をタップ

**5** 「バッテリー診断ツールをアンインストールしますか？」と表示された場合は、「はい」ボタンをタップ

これ以降の操作は画面の指示に従ってください。

以上でバッテリー診断ツールのアンインストールは終了です。

# メンテナンスと管理

---

[070000-28]

- ▶ SSDのメンテナンス..... 112
- ▶ お手入れについて..... 114

# SSDのメンテナンス

[070200-28]

▶ バックアップ.....	112
▶ 復元.....	112
▶ その他のメンテナンス.....	113

SSD内の大切なデータを守り、トラブルを予防するには、データのバックアップが重要です。また、突然のトラブルを予防するために、定期的にメンテナンスを行うことも大切です。ここでは、SSDのバックアップ方法、およびSSDのメンテナンスについて説明しています。

## バックアップ

Windowsではファイルとフォルダ、またはコンピュータ全体をバックアップすることができます。大切なデータを保護するには、定期的にバックアップしてください。バックアップの方法についての詳細は、Windowsのヘルプをご覧ください。

## 復元

### ファイルの復元

お客様が作成したファイル（データファイル）を紛失、あるいは損傷してしまった場合、ファイルの復元を行うことにより、ファイルをバックアップした時の状態に戻すことができます。また、ファイルの復元は個別、グループ単位で復元することができます。ファイルの復元の方法についての詳細は、Windowsのヘルプをご覧ください。



#### チェック

ファイルの復元を行うときは、すべてのアプリケーションを終了してください。

### システムの復元

本機の動作が不安定になるなど、システムにトラブルが起きてしまった場合には、「システムの復元」を実行すると、もとの状態に戻すことができます。システムの復元の方法については、『再セットアップガイド』をご覧ください。



#### チェック

- システムの復元を行うときは、すべてのアプリケーションを終了してください。
- システムの復元では、お客様が作成したファイル（データファイル）を復元することはできません。



## ■ その他のメンテナンス

SSD内のデータの障害をチェックし、効率的に利用するために、次のメンテナンスツールがインストールされています。これらのツールについて詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

### チェック ディスク

---

SSDやSSD内のデータの障害を検査するためのツールです。ファイルシステムやFAT（ファイルアロケーションテーブル）、クラスタ、ディレクトリツリー構造などをチェックすることができます。

### ディスク クリーンアップ

---

不必要なファイルを削除し、SSDの空き容量を増やすためのツールです。

## お手入れを始める前に



### チェック

- 可燃性のエアダスターは使用しないでください。発火・火災の原因となることがあります。
- シンナーやベンジンなど、揮発性の有機溶剤は使わないでください。これらの有機溶剤を含む化学ぞうきんも使わないでください。キーボードなどを傷め、故障の原因になります。
- 水やぬるま湯は、絶対に本体やキーボードに直接かけないでください。故障の原因になります。

## 準備するもの

### 軽い汚れのとき

乾いたきれいなやわらかい布

### ひどい汚れのとき

水かぬるま湯を含ませて、よくしぼったやわらかい布

## お手入れのしかた



### チェック

- お手入れの前には、必ず本体や周辺機器の電源を切ってください。使用していないときも、スリープ状態になっている場合があります。一度、Windowsを起動してから、電源を切ってください。ACアダプタのプラグはコンセントから抜いてください。電源を切らずにお手入れを始めると、感電することがあります。
- 水やぬるま湯は、絶対に直接かけないでください。故障の原因になります。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は、使用しないでください。外装を傷めたり、故障の原因になったりします。

## 本体

やわらかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってからふき取ってください。

## 液晶ディスプレイ

やわらかい布でふいてください。化学ぞうきんやぬらした布は使わないでください。

ディスプレイの画面は傷などが付かないように軽くふいてください。

## ACアダプタ／USBケーブル

---

やわらかい布でふいてください。

ACアダプタのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまることがありますので、定期的に清掃してください。

# 別売のOSを利用する

---

[080000-28]

▶ 別売のOSを利用する.....	117
-------------------	-----

# 別売のOSを利用する

[080100-00]

本機でボリュームライセンスや市販パッケージなどの別売OS（お使いの装置専用の「再セットアップ用メディア」以外）を利用する場合に必要な装置固有のドライバおよびセットアップ手順を、次のサイトで紹介しています。

- NECの「ビジネスPC」サイト  
<http://www.nec.co.jp/bpc/>

NECの「ビジネスPC」サイトで「サポート情報（ダウンロード）」を選択して、「ご使用中のお客様」から「ドライバ・ソフトウェア」をタップし、「ドライバ・ソフトウェア」の「モジュール、ドライバ」から、必要なドライバを選択してください。



## チェック

- 利用できるOSは機種によって異なりますので、ご注意ください。
- ご利用にあたり、使用許諾契約書への同意が必要になります。また、いくつか制限事項がありますので、必ずご利用前にサイト中の制限事項や注意事項および「ご利用前に必ずお読みください」「ドライバ利用手順」を確認してください。  
ドライバ適用時には、特別な手順が必要なドライバがありますので必ず各ドライバの「SETUP.TXT」を確認してください。  
また、OS自体に起因するトラブルに関しましては対応しかねますので、OS媒体の購入元にお問い合わせください。

# トラブルの予防と解決のヒント

---

[090000-28]

▶	トラブルの予防.....	119
▶	ウイルスから守る.....	122
▶	トラブル発生に備えて.....	125
▶	解決のヒント.....	126
▶	Windowsヘルプの紹介.....	129

## 電源は正しい順序で操作する

電源の操作は、次の手順に従ってください。

### 電源を入れる



#### チェック

- 電源を切る操作を行い、画面が暗くなってから電源スイッチを押しても電源が入らないときは、数分待ってから再度電源を入れてください。  
本機は工場出荷時の状態で高速スタートアップが有効になっており、電源が切れる前に次回の起動を早くするための処理を行っています。そのため、電源を切る操作を行って画面が暗くなった直後などに、電源スイッチを押しても電源が入らない場合があります。
- ユーザー選択画面が表示された場合は、サインインするユーザーを選択してください。
- パスワード入力画面が表示された場合は、選択したユーザーのパスワードを入力してください。

#### 1 周辺機器の電源を入れる

#### 2 本機の電源スイッチを押す

### 電源を切る



#### チェック

- Windowsやアプリケーションの表示中は、本機の電源を切らないでください。
- アプリケーションのエラーなどでWindowsの操作ができない場合に電源を強制的に切る場合は、4秒以上電源スイッチを押し続けてください。
- 通信を行っている場合は、通信が終了していることを確認してから電源を切ってください。通信中に電源を切ると、通信中のデータが失われる場合があります。

#### 1 作業中のデータを保存してアプリケーションを終了する

#### 2 チャームバーを表示し、「設定」をタップ

#### 3 をタップ

#### 4 「シャットダウン」をタップ

シャットダウン処理終了後、電源が自動で切れます。



### チェック

シャットダウン処理中は、電源スイッチを押さないでください。

## 5 電源ランプが消灯し、本機の電源が切れたことを確認したら、周辺機器の電源を切る

### Windowsを最新の状態に保つ

Windows® Update、またはMicrosoft® Updateでは最新かつ重要な更新プログラムが提供されています。Windowsを最新の状態に保つために、Windows® Update、またはMicrosoft® Updateを定期的の実施してください。



### チェック

本機には更新プログラムがインストールされています。更新プログラムをアンインストールすると、修正されていた問題が発生する可能性がありますので、更新プログラムのアンインストールは行わないでください。

### チェック ディスクを使って定期的にSSDのメンテナンスを行う

チェック ディスクを使って、定期的にSSDにエラーがないかどうかを調べてください。チェック ディスクは、次の手順で表示することができます。

また、チェック ディスク以外のメンテナンスについては、「メンテナンスと管理」の「SSDのメンテナンス (P. 112)」をご覧ください。



### チェック

手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。



### 参照

「ユーザー アカウント制御」画面

「はじめに」の「ユーザー アカウント制御」について (P. 7)

## 1 アプリ画面 (P. 8)を開き、アプリの一覧で「コンピューター」をタップ

## 2 エラーチェックするSSDのアイコンを右タップし、表示されたメニューから「プロパティ」をタップ

## 3 「ツール」タブをタップ

## 4 「チェック」ボタンをタップ

## 5 オプションを設定して「開始」ボタンをタップ



## ■ 保守契約を結び定期的にメンテナンスをする

本機を長時間連続で運用するなど、信頼性を必要とする設備として利用する場合は、必ず保守契約を行い、定期的にメンテナンスを実施してもらうとともに、有寿命部品などの交換を依頼してください。

## ■ 改造をしない

本機のマニュアルに記載されている方法以外で、本機の改造や修理をしないでください。



### チェック

本機のマニュアルに記載されている方法以外で改造や修理をした製品については、当社のサービスの対象外となります。

# ウイルスから守る

[090500-08]

- ウイルスとは. . . . . 122
- ウイルスバスターを使ってウイルスを駆除する. . . . . 123

## ■ ウィルスとは

ウイルス（コンピュータウイルス）とはプログラム的一种です。  
ユーザー（使用者）が気づかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

## ウィルスの感染を防ぐために

ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- オリジナルプログラムは、ライトプロテクト措置、バックアップの確保等の安全な方法で保管する
- 出所が不明なメディアは使用しない
- マクロ感染型ウイルスのおそれがあるので、出所が不明なデータファイルを開かない
- プログラムを実行する時は、ウイルス検査を済ませてから使用する  
（インターネットからプログラムをダウンロードするときも、直接実行せず、いったんメディアに保存し、ウイルス検査を済ませてから使用する）
- ウィルスチェックを定期的に行う
- ウィルスパターンファイルはこまめに更新する
- ソフトウェアのセキュリティホールをふさぐ

また、定期的にデータのバックアップを作成しておくことをおすすめします。  
万一ウイルスに感染してしまった場合にも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

## ウィルスを発見したら

ウイルスを駆除するには、該当ファイルを削除して、アプリケーションを再インストールすることが一番安全で確実な方法です。

ただし、発見されたウイルスがブートセクタ型の場合、ブートセクタがウイルスに感染した可能性のある段階ではこの方法は使えません。

また、二次感染を防ぐため、ウイルスが発見されたパソコンで使用した媒体をすべて検査する必要があります。

本機添付のウイルスバスターをご使用の場合は「[ウイルスバスターを使ってウイルスを駆除する \(P. 123\)](#)」をご覧ください。

ウイルスバスター以外のウイルス対策ソフトをご使用の場合、使用されているウイルス対策ソフトの指示に従ってください。



## チェック

パソコンの電源は切らないでください。ウイルスによっては症状が悪化することがあります。

## ウイルスの被害届について

日本では、ウイルスを発見した場合、所定の機関への届出が義務付けられています。

届出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況の把握のためにも積極的な報告をお願いします。

届け出先：独立行政法人 情報処理推進機構（IPA）

IPAセキュリティセンター

FAX： 03-5978-7518

E-mail： virus@ipa.go.jp

URL： <http://www.ipa.go.jp/security/>

同機構ではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。

（IPA）コンピュータウイルス110番

TEL： 03-5978-7509

## ウイルスバスターを使ってウイルスを駆除する

### ウイルスの感染を検査するには

ウイルスバスターを使ったウイルス検査には、次のような方法があります。

#### ◆脅威を検査する

ファイルを開く、保存する、またはダウンロードする時に検査を実行します。

インストール時の状態では、脅威の検査を行う設定になっています。

#### ◆すぐに検査する（カスタムスキャン）

ウイルスに感染していないかの検査を、その場ですぐに実行します。

外部からファイルを受け取ったときなどには「カスタムスキャン」を実行し、受け取ったファイルがウイルスに感染していないことを確認することをおすすめします。

#### ◆定期的に検査する（予約スキャン）

設定した実行タイミングに応じて、ウイルス感染の検査を自動的に実行します。

### ウイルスを検出した場合

インストール時の状態ではウイルスが検出された場合、ウイルスに感染したファイル名や実行した処理の情報が表示されます。

ウイルスバスターは、インターネット上のパターンファイルを利用しており、通信を行いながらウイルスチェックをします。インターネットに接続している状態でウイルスの駆除を行ってください。

## 新種のウイルスに備えるには

---

インターネットに常時接続し、インターネット上のパターンファイルを利用することで、最新の脅威に対抗し安全性をより万全にすることができるため、できるだけインターネットに接続した環境でウイルスバスターをご利用ください。

# トラブル発生に備えて

---

[090200-28]

## ■ 大切なデータはバックアップをとっておく

トラブル発生によるデータの消失や破損に備え、大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。

## ■ あらかじめ復元ポイントを作成しておく

Windowsの設定の変更や、周辺機器の接続などをする場合に、あらかじめ復元ポイントを作成しておくことで、Windowsの設定を復元ポイント作成時の状態まで戻すことができます。

復元ポイント作成後に行った変更によってトラブルが発生した場合の解決策として有効です。

復元ポイントの作成方法は、「[コントロール パネル \(P. 8\)](#)」を表示し、「システムとセキュリティ」→「システム」→「システムの保護」→「作成」で行ってください。

システムの復元については、『[再セットアップガイド](#)』をご覧ください。

## ■ あらかじめ「回復ドライブ」を作成しておく

本機は、SSD内にシステム復旧時に必要な「回復ドライブ」を作成するためのデータを格納しています。

ファイルの破損などにより、Windowsが正常に起動しないときに備え、市販のUSBフラッシュメモリを使用して、あらかじめ「回復ドライブ」を作成しておくことをおすすめします。

「回復ドライブ」の作成／使用方法は、『[再セットアップガイド](#)』をご覧ください。

# 解決のヒント

[090300-28]

パソコンは、さまざまなアプリケーションや周辺機器を組み合わせるため、予期しないトラブルが発生することがあります。

トラブルをうまく解決するためには、いくつかのポイントがあります。

## ■ 落ちついて対処する

あわてて電源を切ったり、タッチパネルを何度も操作したりしないでください。

本機が反応していない（フリーズした）ように見えても、アプリケーションなどの処理に時間がかかっているだけのこともあります。

しばらく待って、処理が終わり操作ができるようにならないか確認してください。

## ■ メッセージが表示されている場合は記録する

本機で発生している問題の状況を示している場合や、サポートに問い合わせる際に有効な情報である場合があります。数字や英語など意味のわからないメッセージであってもメモにとるなどして記録してください。

## ■ トラブル発生直前に行った変更を確認する

トラブルが発生する直前に、周辺機器の取り付けやアプリケーションのインストールなどの変更をした場合、その変更がトラブルの原因になっている場合があります。行った変更を元に戻すことができるならば、1つずつ元に戻し、トラブルが発生しなくなるか確認してください。原因がわかると対処しやすくなります。

## ■ セーフモードを利用する

Windowsの状態や設定などの理由でトラブルが発生し、通常の手順で起動できないときは、セーフモードで本機を起動して、状態を調べたり、設定を変更したりできます。

セーフモードでWindowsを起動するには、次の手順で行ってください。

**1** チャーム バーを表示し、「設定」をタップ

**2** 「PC設定の変更」→「全般」をタップ

**3** 「PCの起動をカスタマイズする」から「今すぐ再起動する」をタップ

「オプションの選択」画面が表示されます。

**4** 「トラブルシューティング」→「詳細オプション」→「スタートアップ設定」をタップ

**5** 「再起動」をタップ

本機が再起動します。

## 6 「スタートアップ設定」画面が表示されたら、【F4】を押す

本機がセーフモードで起動します。

## 7 サインイン画面が表示された場合は、ユーザー名を選択し、パスワードを入力する

### システム情報を利用する

本機の構成情報や関連情報などを収集、表示し、システムの問題を解決するために必要なデータをすばやく探すことができます。

システム情報を表示するには、次の手順で行ってください。

#### 1 「コントロールパネル (P. 8)」を表示し、「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「システム情報」をダブルタップ

### システムの復元を利用する

本機に行った不適切な変更を取り消し、設定を元に戻すことができます。

システムの復元を表示するには、次の手順で行ってください。

#### 1 「コントロールパネル (P. 8)」を表示し、「システムとセキュリティ」→「システム」→「システムの保護」→「システムの復元」をタップ

システムの復元の方法については、『再セットアップガイド』をご覧ください。

### Windowsのヘルプを使う

「Windowsヘルプの紹介 (P. 129)」をご覧ください。

### 周辺機器やアプリケーションのマニュアルやヘルプ、READMEファイルを見る

周辺機器やアプリケーションに関してトラブルが発生した場合は、それらに添付のマニュアルやヘルプ、READMEファイルを確認してください。

### NECの「ビジネスPC」サイトを見る

NECの「ビジネスPC」サイトでは、企業向け情報機器に関する最新のサポート情報やアップデート情報を紹介しています。  
<http://www.nec.co.jp/bpc/>をご覧ください。

## BIOSセットアップユーティリティの設定を工場出荷時の設定値に戻す

「BIOS設定およびTCO機能」の「BIOSセットアップユーティリティ」をご覧ください。BIOSセットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してみてください。

BIOSセットアップユーティリティについて詳しくは、「BIOS設定およびTCO機能」の「BIOSセットアップユーティリティ」をご覧ください。



### 参照

#### BIOSセットアップユーティリティについて

「BIOS設定およびTCO機能」の「[BIOSセットアップユーティリティ \(P. 77\)](#)」

## システムを修復する

Windowsが起動できなくなった場合、『再セットアップガイド』をご覧ください。システムを修復してください。

## トラブルチェックシートに記入して問い合わせる

NECのお問い合わせ先については、本機添付の『保証規定&修理に関するご案内』をご覧ください。

なお、お問い合わせの際には、どんなトラブルかを、『保証規定&修理に関するご案内』にある「トラブルチェックシート」に記入してください。また、必ず保証書を準備してください。型番や保守に必要な情報が記載されています。

本機と別に購入した周辺機器やアプリケーションに関するトラブルは、その製品のお問い合わせ先にご相談ください。本機に添付されていたものでも、アプリケーションの問題は、そのアプリケーションのお問い合わせ先からの方が適切な回答を得られます。

## 本機に添付されているアプリケーションのお問い合わせ先

本機添付の『ソフトウェア使用条件適用一覧/添付ソフトウェアサポート窓口一覧』に従い、各社へお問い合わせください。その他のアプリケーションについては、本機添付の『保証規定&修理に関するご案内』をご覧ください。



# Windowsヘルプの紹介

---

[090400-08]

Windowsには、機能の紹介やトラブルが起きた場合に役立つ機能や操作、解決方法などが記載された「ヘルプ」があります。

サポート窓口に問い合わせる前にWindowsのヘルプから解決策を探してみてください。

## Windows 8のヘルプ

### 表示方法

---

アプリ画面 (P. 8)を開き、アプリの一覧で「ヘルプとサポート」をタップすると、「Windows ヘルプとサポート」画面が表示されます。



## 問題解決方法

### ◆キーワードで検索する

次の手順で、キーワードを入力して検索することができます。

**1** 「Windows ヘルプとサポート」画面の「検索」欄に調べたい項目やキーワードを入力する

**2** 「検索」欄の横の  をタップ

検索結果が表示されます。

### 3 検索結果から見たい項目をタップ

---

## アフターケア、改造について

---

[110000-00]

- 保守サービスについて..... 133
- 「再セットアップ用メディア」の入手方法について..... 134
- 消耗品と有寿命部品について..... 135
- 24時間以上の連続使用について..... 137
- 本製品の改造、修理について..... 138

# 保守サービスについて

---

[110100-00]

保守サービスのご相談は、ご購入元、NECなどで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『保証規定&修理に関するご案内』をご覧ください。



## チェック

- ご購入元、NECなどに本製品の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除しておいてください。
- 故障箇所によっては、本製品購入後にSSDやメモリ内に保存されたデータを完全には復旧できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



## 参照

### NECのお問い合わせ先について

『保証規定&修理に関するご案内』

# 「再セットアップ用メディア」の入手方法について

---

[110200-08]

「再セットアップ用メディア」はメディアオーダーセンターより有償で入手することができます。  
「再セットアップ用メディア」入手についてのお問い合わせは、下記のホームページをご覧ください。

**お問い合わせ先：**

PC98-NXシリーズ メディアオーダーセンター

**ホームページアドレス：**

<http://nx-media.ssnet.co.jp/>

# 消耗品と有寿命部品について

[110300-20]

本製品には、消耗品と有寿命部品が含まれています。

安定してご使用いただくためには、定期的な保守による部品交換が必要になります。

特に長時間連続して使用する場合には、安全等の観点から早期の部品交換が必要です。

本製品のアルミ電解コンデンサは有寿命部品です。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇に至り、異臭や発煙が発生する場合があります。その場合は直ちに使用を中止し修理を依頼してください（尚、アルミ電解コンデンサの交換は保守部品単位になります）。

標準保証期間内であっても、有償となる場合があります。特に長時間連続して使用する場合には、安全等の観点から早期の部品交換が必要です。

消耗品と有寿命部品は次の通りです。

種類	種類の内容説明	該当品または部品（代表例）
消耗品	使用頻度や使用量により消耗の進行が異なります。 お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。 バッテリーの交換については、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。 保証期間内であっても有償となります。	フロッピーディスク、CD-ROM等の媒体、バッテリーパック、乾電池、USBメモリ、デジタイザーペン用ペン先
有寿命部品	使用頻度や経過時間によって摩耗、劣化の進行に大きな差が生じ、修理による再生ができなくなる部品です。 本体の保証期間内であっても部品代は有償となる場合があります。 詳しくは、121コンタクトセンターまたはビジネスPC修理受付センターにご相談ください。	ディスプレイ（CRT、LCD）、SSD、光学ドライブ（DVD-ROMドライブ等）、フロッピーディスクドライブ、キーボード、マウス、ファン、ACアダプタ、デジタイザーペン 本製品には、有寿命部品（ディスプレイ、光学ドライブ、SSD、電源、ACアダプタ、マザーボード、グラフィックボード等の内蔵基板など）が含まれています。 <b>これらのユニットの中には有寿命部品であるアルミ電解コンデンサが使用されているものがあります。</b>



## メモ

- 記載部品は代表例です。機種により構成が異なります。詳しくは下記のリンクよりご覧ください。  
<http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201305/bios/v1/mst/index.html>
- 有寿命部品の交換時期の目安は、1日8時間のご使用で約5年です。  
（ご使用になる頻度や条件により差が生じます。また、上記の目安期限前に交換が必要となることがあります。）
- 本製品の補修用性能部品の保有期間は、PC本体については、製造打切後5年、オプション製品については6年です。  
製造打切後5年を経過した本製品（オプション製品は6年）は、修理などの保守サービスを受けることができませんのでご了承願います。



参照

NECのお問い合わせ先について  
『保証規定&修理に関するご案内』



## 24時間以上の連続使用について

---

[110400-00]

本製品は、24時間連続使用を前提とした設計になっておりません。  
24時間連続稼働した場合、標準保証の対象外となり、製品保証期間内であっても有償修理となります。



**参照**

**NECのお問い合わせ先について**  
『保証規定 & 修理に関するご案内』

# 本製品の改造、修理について

---

[110500-00]

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、本製品を改造・修理しないでください。



## チェック

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外となります。

## 譲渡、廃棄について

---

[120000-00]

- ▶ 本製品の譲渡について..... 140
- ▶ 本製品の廃棄方法について..... 141
- ▶ パソコンの廃棄・譲渡時のSSD上のデータ消去に関するご注意..... 142
- ▶ ハードディスクのデータ消去..... 143

# 本製品の譲渡について

[120100-00]

本製品を第三者に譲渡（売却）する場合は、所定の条件に従ってください。また、本製品を譲り受けられたときには、所定の手続きに従って「お客様登録」を行ってください。

## ■ 本製品を第三者に譲渡（売却）するお客様へ

本製品を第三者に譲渡（売却）するときは、以下の条件を満たす必要があります。

1. 本機に添付されるすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、アンインストールした後、譲渡すること（本機に添付されている「ソフトウェアの使用条件適用一覧」をご覧ください）



### チェック

- パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡（売却）の際には、これらの情報を削除することをおすすめします。
- 第三者に譲渡（売却）する製品をご登録されている場合は、登録先にて登録削除の手続きを必ずお願いいたします。
  - **121ware に登録されている方**  
121ware.comのマイページ（<http://121ware.com/my/>）の保有商品情報で削除の手続きをお願いいたします。
  - **「お客様登録」ページから登録をされている方**  
購入品登録のページ（<http://acc.express.nec.co.jp/Main/main.asp>）の購入品一覧より、購入品登録削除の手続きをお願い致します。

## ■ 本製品を譲り受けられたお客様へ

NECの「121ware」サイトでの登録をお願いします。

<http://121ware.com/my/>より、121wareの「ログインID取得ページ」を取得し、購入商品をご登録くださいますようお願いいたします。

# 本製品の廃棄方法について

[120200-00]

- 希少資源の再利用のため、不要になったパソコンのリサイクルにご協力ください
- 本製品の所有者が個人の場合、当社が使用済製品の回収を行うときは有償となることがあります。詳細は、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください

URL : <http://121ware.com/support/recyclese/>

- 本製品の所有者が事業者の場合、当社が使用済製品の回収を行うときは有償になります。詳細は、下記のホームページで紹介している窓口にお問い合わせください

URL : <http://www.nec.co.jp/eco/ja/business/recycle/it/>

なお、NEC グループの回収・リサイクルシステムに関する詳細については、下記のホームページをご覧ください

URL : <http://www.nec.co.jp/eco/ja/>



## チェック

- 添付されたマニュアルに記載されている方法以外で機器を改造された場合、その機器を引き取ることができない場合がありますので、ご注意ください。
- 一度SSDに記憶されたデータは、「ごみ箱」から削除したりSSDをフォーマットしたりしても、復元できる場合があります。詳しくは、以下をご覧ください。
  - ▶ [パソコンの廃棄・譲渡時のSSD上のデータ消去に関するご注意](#)..... 142

# パソコンの廃棄・譲渡時のSSD上のデータ消去に関する ご注意

[120400-08]

本内容は、JEITAが案内する「パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意」の趣旨に添った内容で記載しています。詳しくは以下のWebサイトをご覧ください。

[http://home.jeita.or.jp/page\\_file/20110511155520\\_8vAEy2Fi5d.pdf](http://home.jeita.or.jp/page_file/20110511155520_8vAEy2Fi5d.pdf)

パソコンを使っていくと、SSDにお客様が作成、使用した重要なデータが記録されていきます。そのため、本機を譲渡または廃棄するときに、これらの重要なデータ内容を消去することが必要となります。ところが、SSD内に書き込まれたデータを消去するというのは、実はそれほど簡単なことではありません。

一般に「データを消去する」という場合、次の操作を指します。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトで初期化（フォーマット）する
- 再セットアップを行い、工場出荷状態に戻す

これらの操作を行うと、パソコン内部では、SSD内に記録されたデータのファイル管理情報が変更され、データが見えなくなっているだけという状態になります。

つまり、データは一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSから、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータはSSD内に残っているのです。

データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があり、悪意のある人によって、本機のSSD内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

**お客様が廃棄・譲渡等を行う際に、SSD上の重要なデータの流出トラブルを回避するために、SSDに記録された全データをお客様の責任において消去することが非常に重要です。データを消去するためには、専用ソフトウェアまたはサービス（共に有償）を利用するか、SSDを金づちなどで物理的に破壊して、読めなくすることを推奨します。**

また、SSD上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。詳しくは「[本製品の譲渡について \(P. 140\)](#)」をご覧ください。十分な確認を行ってください。

なお、お手元に「再セットアップ用メディア」がある場合は、「再セットアップ用メディア」を利用してSSDのデータを消去することができます。



## 参照

### SSDのデータ消去について

「ハードディスクのデータ消去 (P. 143)」

# ハードディスクのデータ消去

[120600-28]

- ▶ データ消去について..... 143
- ▶ データを消去する..... 144

## データ消去について

本機のハードディスクのデータを消去することができます。

ハードディスクに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしたりしても復元できる場合があります。

このメニューを選択すると、OS標準のハードディスクのフォーマット機能では消去できないハードディスク上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。

本機を譲渡、または廃棄する場合にご利用ください。

本機を譲渡、または廃棄する場合は、「[譲渡、廃棄について \(P. 139\)](#)」もあわせてご覧ください。



### チェック

- **SSD搭載の本機でも使用することができます。**
- ハードディスクのデータ消去には「再セットアップ用メディア」が必要です。
- ハードディスクのデータ消去を実行する前にBIOSセットアップユーティリティの設定値を工場出荷時の状態に戻してください。  
工場出荷時の設定値に戻す方法については、「[BIOS設定およびTCO機能 \(P. 76\)](#)」をご覧ください。
- 途中でデータ消去作業を中断するためには、別売のUSBキーボードとUSBハブが必要になります。



### 参照

- 「**再セットアップ用メディア**」について  
『再セットアップガイド』
- **BIOSセットアップユーティリティ**について  
「BIOS設定およびTCO機能」の「[BIOSセットアップユーティリティ \(P. 77\)](#)」

消去にかかる時間は、消去方式やハードディスクの容量、モデルによって異なります。

また、ハードディスクのデータ消去方式は次の3つの方式があります。

- **かんたんモード (1回消去)**

ハードディスク全体を「00」のデータで1回上書きします。

- **しっかりモード (3回消去)**

米国国防総省NSA規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去を行います。

ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みを行い、3回消去を行うことで、より確実に消去できます。ただし、3回書き込みを行うため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。

### ● しっかりモードプラス（3回消去+検証）

米国国防総省DoD規格準拠方式により、ハードディスクのデータ消去を行います。

「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みを行い、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。3回消去を行うことで、より確実に消去できます。ただし、3回の書き込みと検証を行うため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

なお、この方法でのハードディスクのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。

データの復元が完全にできないことの証明が必要な場合は、NECフィールディング株式会社に有償のデータ消去を依頼してください。

NEC フィールディングホームページ

<http://www.fielding.co.jp/>

## データを消去する



### チェック

- 『はじめにお読みください』をご覧になり、周辺機器を取り外してご購入時と同じ状態にしてください。
- ハードディスクのデータの消去は本マニュアルを表示しながら行うことはできません。印刷してご覧ください。

### 1 電源を入れ、ロゴ画面が表示されたら、電源スイッチと音量ボタン（+）を同時に押す

BIOSセットアップユーティリティが起動します。

### 2 BIOSセットアップユーティリティが表示されたら、「再セットアップ用メディア」をUSBコネクタにセットする

### 3 「F10 Save and Exit」をタップ

### 4 「Yes」が選択されていることを確認して「Yes」をタップ

### 5 再起動後、ロゴ画面が表示されたら、電源スイッチと音量ボタン（+）を同時に押す

BIOSセットアップユーティリティが起動します。


### 6 「Startup」から「Boot」を選択し、「USB Drive」を一番上にする



### メモ

「USB Drive」をタップして選択してから、「USB Drive」が一番上に移動するまで「+/- Change Values」をタップします。



- 7 「F10 Save and Exit」をタップ
  - 8 「Yes」が選択されていることを確認して「Yes」をタップ
  - 9 「Windows 再セットアップ」画面が表示されたら、「ハードディスクのデータを消去する」をタップ
  - 10 「ハードディスクのデータを消去します。よろしいですか？」と表示されたら、「はい」をタップ
  - 11 データを消去するハードディスクを選択し、「次へ」ボタンをタップ
  - 12 データの消去方式を選択して、「実行」ボタンをタップ
  - 13 「ハードディスクのデータ消去を開始しますか？」と表示されたら、「はい」ボタンをタップ
-  **チェック**

データ消去が中断された場合は、「再セットアップ用メディア」をUSBコネクタに挿入した状態のまま、電源を入れてください。自動的に、前回の続きからデータ消去が開始されます。
- 14 「ハードディスクのデータ消去が完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをタップ
  - 15 USBコネクタから「再セットアップ用メディア」を取り外し、「シャットダウン」をタップ

以上でハードディスクのデータ消去は終了です。

# 仕様一覧など（Web専用コンテンツ）

---

[130000-00]

▶ 仕様一覧など（Web専用コンテンツ） .....	147
----------------------------	-----

# 仕様一覧など（Web専用コンテンツ）

---

[130100-00]

本機に関する次の情報については、Web専用コンテンツに記載しております。

- 仕様一覧
- 割り込みレベル、およびDMAチャンネルの割り当て
- ソフトウェア占有量



## メモ

Web専用コンテンツをご覧になるには、インターネットへの接続環境が必要です。

Web専用コンテンツは、下記のリンクからご覧ください。

<http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201305/bios/v1/mst/index.html>

## 活用ガイド

### タイプVT

---

初版 2013年9月

©NEC Personal Computers, Ltd. 2013

NECパーソナルコンピュータ株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。

---